

I 市民意識調査

1 調査方法

調査対象者：市内に居住する18歳以上の市民
調査対象人数：2,000人（無作為抽出）
調査方法：郵送による配布、回収
調査期間：令和3年8月1日から8月20日まで

2 調査結果

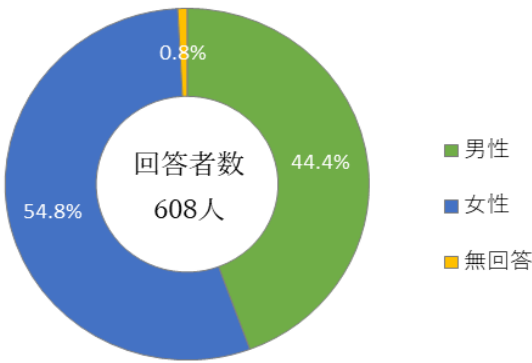
有効回収数：608人
有効回答率：30.4%

■問1 基本的項目

性別

	回答者数	回答割合	発送数	性別別回収率
男性	270	44.4%	953	28.3%
女性	333	54.8%	1047	31.8%
無回答	5	0.8%		
総計	608	100.0%	2000	30.4%

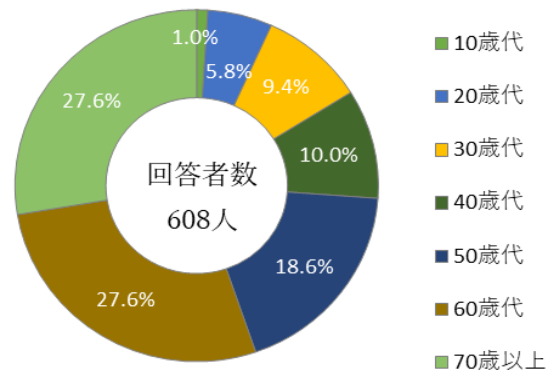
性別



年齢

	回答者数	回答割合	発送数	年代別回収率
10歳代	6	1.0%	32	18.8%
20歳代	35	5.8%	154	22.7%
30歳代	57	9.4%	225	25.3%
40歳代	61	10.0%	249	24.5%
50歳代	113	18.6%	323	35.0%
60歳代	168	27.6%	425	39.5%
70歳以上	168	27.6%	592	28.4%
総計	608	100.0%	2000	30.4%

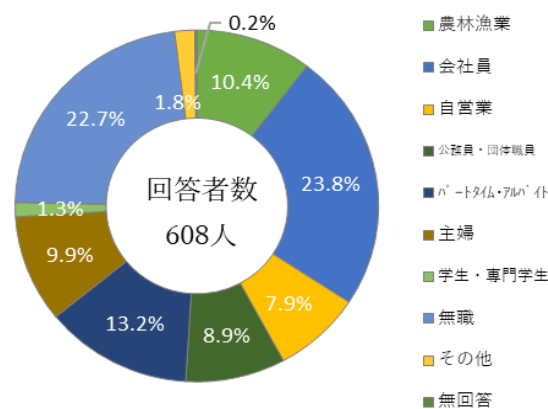
年齢



職業

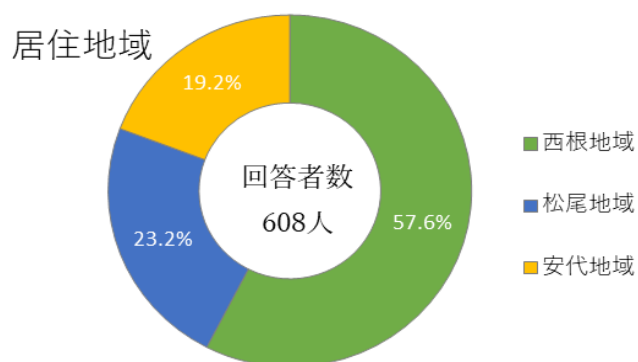
	回答者数	回答割合
農林漁業	63	10.4%
会社員	145	23.8%
自営業	48	7.9%
公務員・団体職員	54	8.9%
パートタイム・アルバイト	80	13.2%
主婦	60	9.9%
学生・専門学生	8	1.3%
無職	138	22.7%
その他	11	1.8%
無回答	1	0.2%
総計	608	100.0%

職業



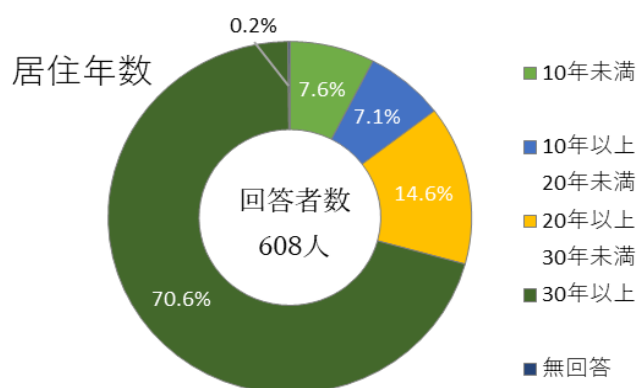
居住地域

	回答者数	回答割合	発送数	地域別回収率
西根地域	350	57.6%	1196	29.3%
松尾地域	141	23.2%	440	32.0%
安代地域	117	19.2%	364	32.1%
総計	608	100.0%	2000	30.4%



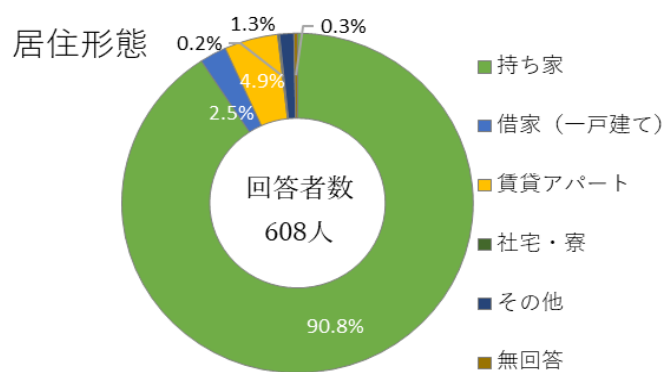
居住年数

	回答者数	回答割合
10年未満	46	7.6%
10年以上20年未満	43	7.1%
20年以上30年未満	89	14.6%
30年以上	429	70.6%
無回答	1	0.2%
総計	608	100.0%



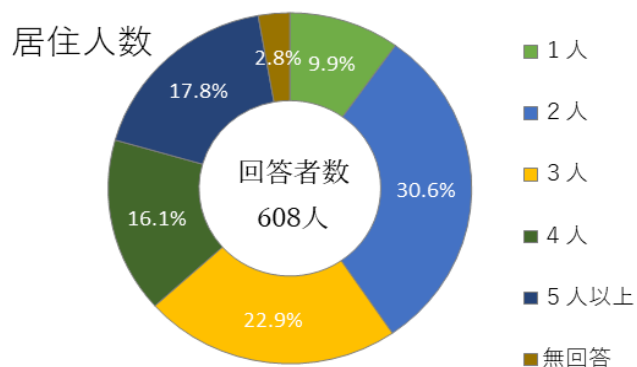
居住形態

	回答者数	回答割合
持ち家	552	90.8%
借家（一戸建て）	15	2.5%
賃貸アパート	30	4.9%
社宅・寮	1	0.2%
その他	8	1.3%
無回答	2	0.3%
総計	608	100.0%



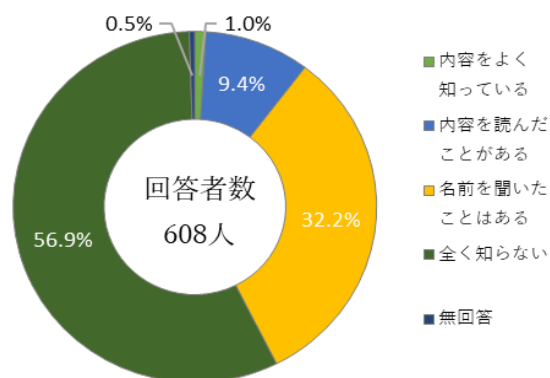
居住人数

	回答者数	回答割合
1 人	60	9.9%
2 人	186	30.6%
3 人	139	22.9%
4 人	98	16.1%
5 人以上	108	17.8%
無回答	17	2.8%
総計	608	100.0%



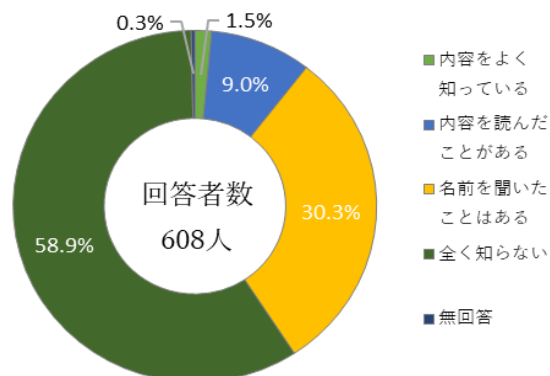
■問２ 本市では、平成22年３月に八幡平市環境基本条例を制定していますが、どの程度知っていますか。

	回答者数	回答割合
内容をよく知っている	6	1.0%
内容を読んだことがある	57	9.4%
名前を聞いたことはある	196	32.2%
全く知らない	346	56.9%
無回答	3	0.5%
総計	608	100.0%



■問３ 本市では、平成24年３月に八幡平市環境基本計画（計画期間：平成24年度～令和３年度）を策定していますが、どの程度知っていますか。

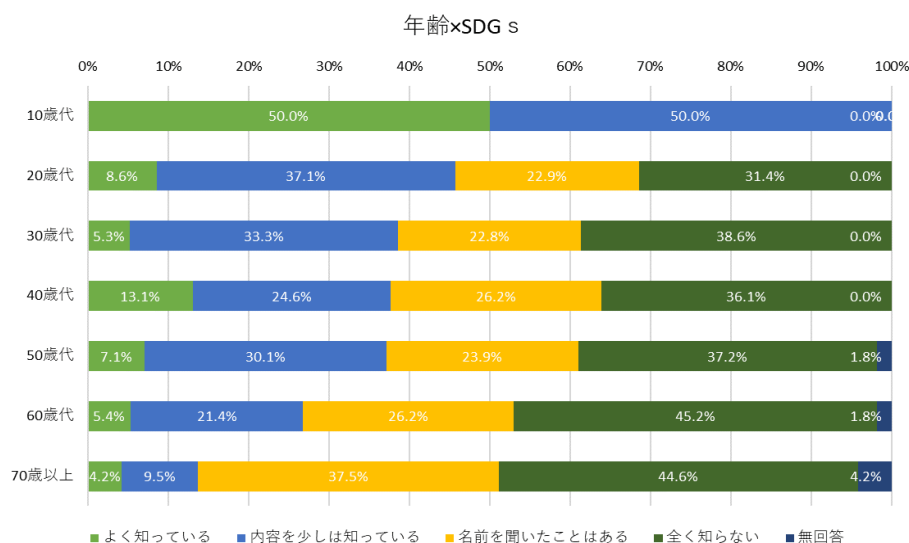
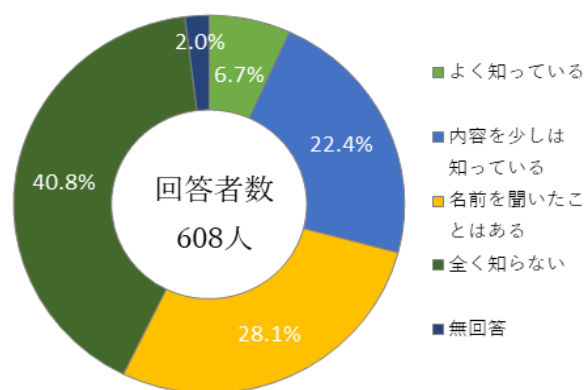
	回答者数	回答割合
内容をよく知っている	9	1.5%
内容を読んだことがある	55	9.0%
名前を聞いたことはある	184	30.3%
全く知らない	358	58.9%
無回答	2	0.3%
総計	608	100.0%



・八幡平市環境基本条例、八幡平市環境基本計画ともに、内容まで読んだことがある人は10%に留まっており、全く知らない人が半数以上に上っています。

■問10 第2次環境基本計画（計画期間：令和4年度～令和13年度）には、SDGs（エスディージーズ：持続可能な開発目標）の視点を取り入れます。SDGsについて知っていますか。

	回答者数	回答割合
よく知っている	41	6.7%
内容を少しは知っている	136	22.4%
名前を聞いたことはある	171	28.1%
全く知らない	248	40.8%
無回答	12	2.0%
総計	608	100.0%



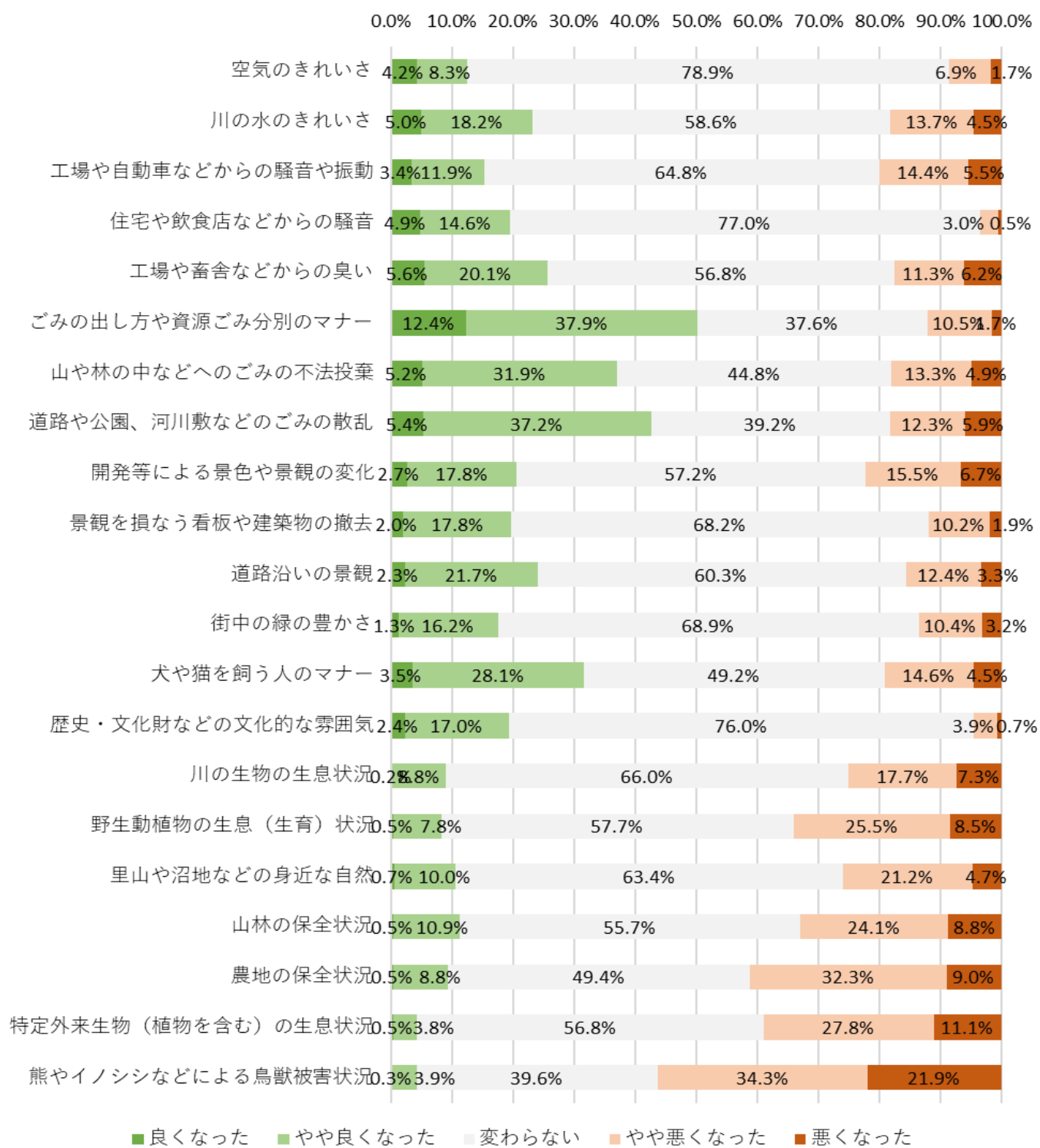
・約30%の人がSDGsについて内容まで知っているもしくは少しは知っており、SDGsの名前を聞いたことがある人まで含めると60%近くになります。

・年代が上がるにつれ認知度が低くなる傾向にありますが、70歳以上でも半数の人がSDGsの名前を聞いたことがある状況です。

■問4 あなたは、10年前と比べて八幡平市の環境はどのように変わったと感じますか。

	良くなっ た	やや良く なった	変わらな い	やや悪く なった	悪くなっ た	無回答	回答者数
空気のきれいさ	4.2%	8.3%	78.9%	6.9%	1.7%	2.5%	593
川の水のきれいさ	5.0%	18.2%	58.6%	13.7%	4.5%	1.5%	599
工場や自動車などからの騒音や振動	3.4%	11.9%	64.8%	14.4%	5.5%	2.0%	596
住宅や飲食店などからの騒音	4.9%	14.6%	77.0%	3.0%	0.5%	2.0%	596
工場や畜舎などからの臭い	5.6%	20.1%	56.8%	11.3%	6.2%	2.5%	593
ごみの出し方や資源ごみ分別のマナー	12.4%	37.9%	37.6%	10.5%	1.7%	1.5%	599
山や林の中などへのごみの不法投棄	5.2%	31.9%	44.8%	13.3%	4.9%	2.0%	596
道路や公園、河川敷などのごみの散乱	5.4%	37.2%	39.2%	12.3%	5.9%	2.4%	594
開発等による景色や景観の変化	2.7%	17.8%	57.2%	15.5%	6.7%	2.4%	594
景観を損なう看板や建築物の撤去	2.0%	17.8%	68.2%	10.2%	1.9%	2.9%	591
道路沿いの景観	2.3%	21.7%	60.3%	12.4%	3.3%	1.5%	599
街中の緑の豊かさ	1.3%	16.2%	68.9%	10.4%	3.2%	1.7%	598
犬や猫を飼う人のマナー	3.5%	28.1%	49.2%	14.6%	4.5%	2.2%	595
歴史・文化財などの文化的な雰囲気	2.4%	17.0%	76.0%	3.9%	0.7%	3.4%	588
川の生物の生息状況	0.2%	8.8%	66.0%	17.7%	7.3%	3.4%	588
野生動植物の生息（生育）状況	0.5%	7.8%	57.7%	25.5%	8.5%	2.9%	591
里山や沼地などの身近な自然	0.7%	10.0%	63.4%	21.2%	4.7%	3.1%	590
山林の保全状況	0.5%	10.9%	55.7%	24.1%	8.8%	3.2%	589
農地の保全状況	0.5%	8.8%	49.4%	32.3%	9.0%	3.2%	589
特定外来生物（植物を含む）の生息状況	0.5%	3.8%	56.8%	27.8%	11.1%	3.8%	586
熊やイノシシなどによる鳥獣被害状況	0.3%	3.9%	39.6%	34.3%	21.9%	2.4%	594

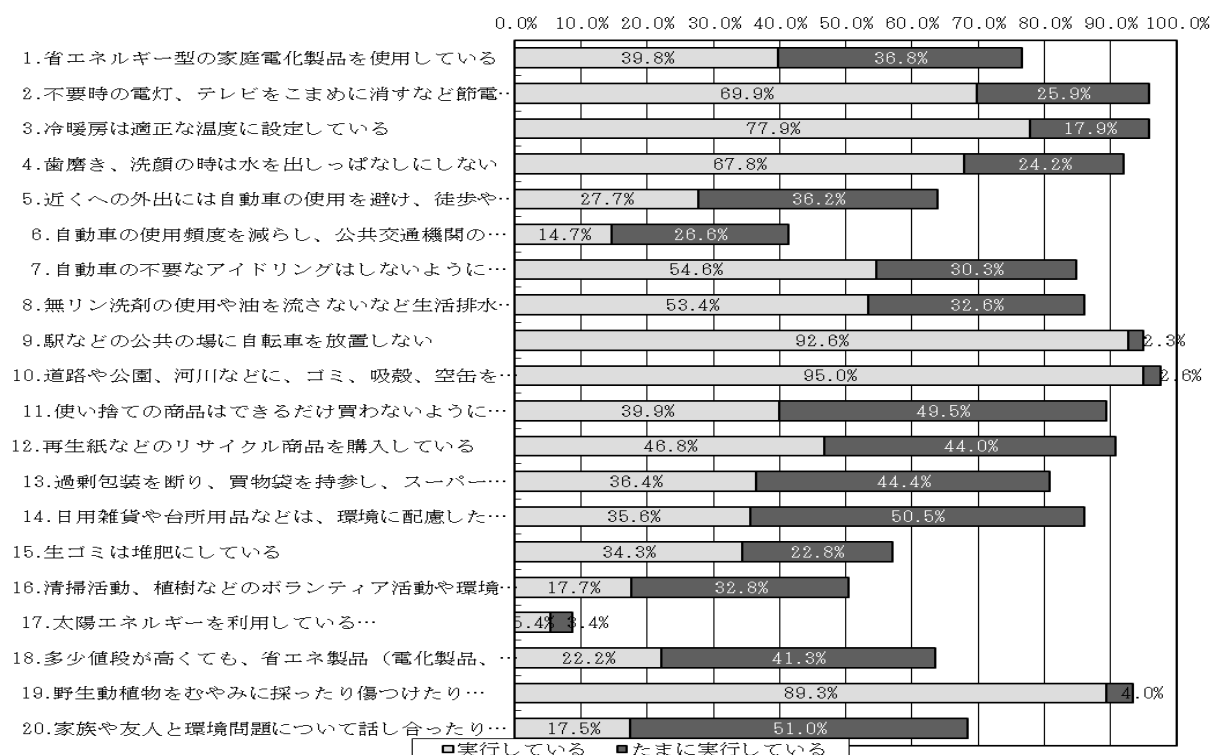
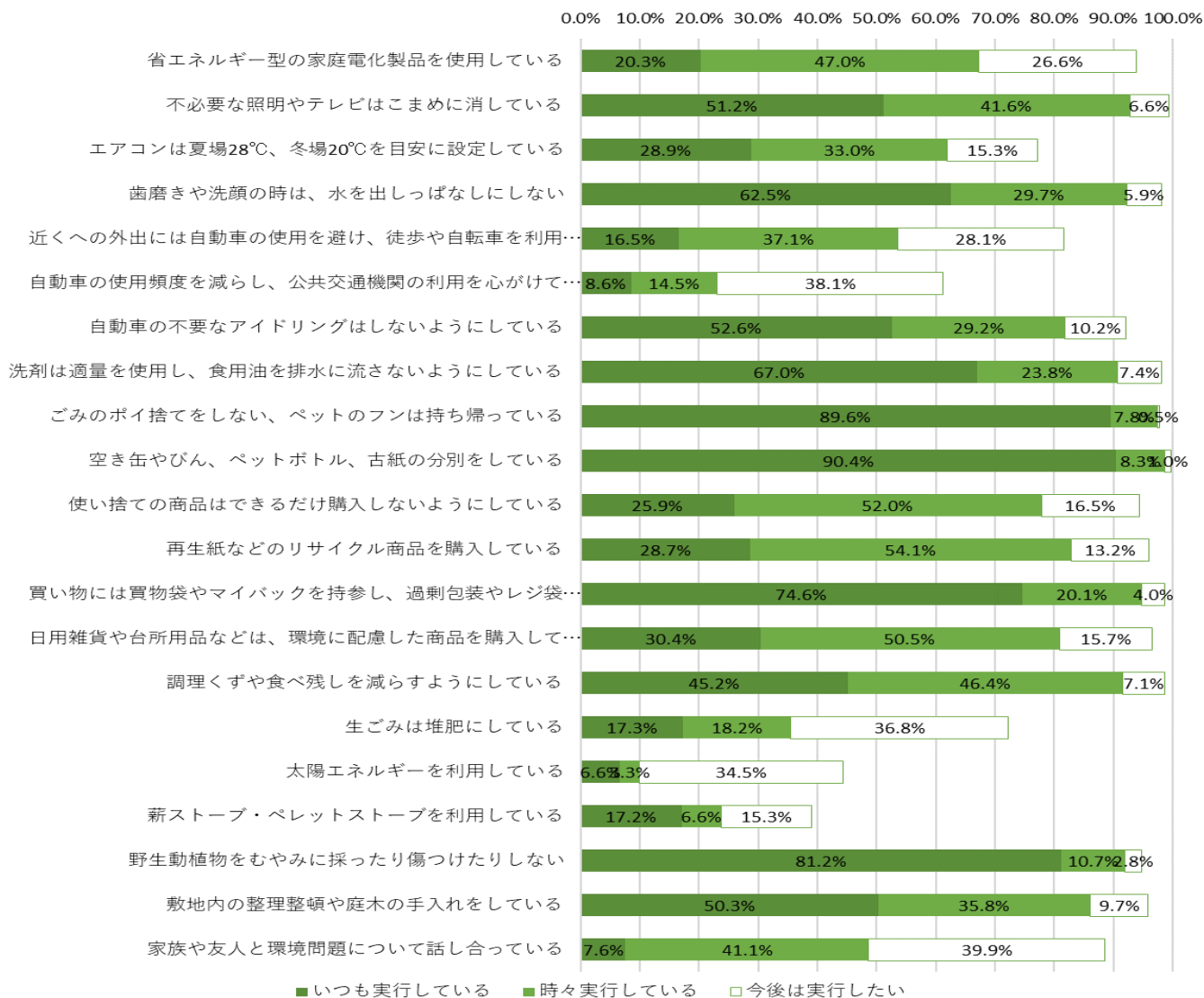
- ・半数の人が「ごみの出し方や資源ごみ分別のマナー」が良くなったと感じています（50.3%）。
- ・生活環境については、良くなったと感じる人がいる一方で、悪くなったと感じる人も一定程度存在します。
- ・自然環境については、良くなったと感じる人よりも悪くなったと感じる人が多く、特に「鳥獣被害状況」は半数以上の人が悪くなったと感じています（56.2%）。



■問5 あなたは、普段の生活の中で次のような環境に配慮した行動に取り組んでいますか。

	いつも実行している	時々実行している	今後は実行したい	実行するつもりはない	無回答	回答者数
省エネルギー型の家庭電化製品を使用している	20.3%	47.0%	26.6%	4.3%	1.8%	606
不必要な照明やテレビはこまめに消している	51.2%	41.6%	6.6%	0.5%	0.2%	606
エアコンは夏場28℃、冬場20℃を目安に設定している	28.9%	33.0%	15.3%	9.6%	13.2%	606
歯磨きや洗顔の時は、水を出しっぱなしにしない	62.5%	29.7%	5.9%	1.7%	0.2%	606
近くへの外出には自動車の使用を避け、徒歩や自転車を利用している	16.5%	37.1%	28.1%	16.2%	2.1%	606
自動車の使用頻度を減らし、公共交通機関の利用を心がけている	8.6%	14.5%	38.1%	37.5%	1.3%	606
自動車の不要なアイドリングはしないようにしている	52.6%	29.2%	10.2%	4.1%	3.8%	606
洗剤は適量を使用し、食用油を排水に流さないようにしている	67.0%	23.8%	7.4%	1.3%	0.5%	606
ごみのポイ捨てをしない、ペットのフンは持ち帰っている	89.6%	7.8%	0.5%	0.5%	1.7%	606
空き缶やびん、ペットボトル、古紙の分別をしている	90.4%	8.3%	1.0%	0.2%	0.2%	606
使い捨ての商品はできるだけ購入しないようにしている	25.9%	52.0%	16.5%	5.4%	0.2%	606
再生紙などのリサイクル商品を購入している	28.7%	54.1%	13.2%	3.3%	0.7%	606
買い物には買物袋やマイバックを持参し、過剰包装やレジ袋は断るようになっている	74.6%	20.1%	4.0%	1.3%	0.0%	606
日用雑貨や台所用品などは、環境に配慮した商品を購入している	30.4%	50.5%	15.7%	3.0%	0.5%	606
調理くずや食べ残しを減らすようにしている	45.2%	46.4%	7.1%	1.3%	0.0%	606
生ごみは堆肥にしている	17.3%	18.2%	36.8%	27.2%	0.5%	606
太陽エネルギーを利用している	6.6%	3.3%	34.5%	53.5%	2.1%	606
薪ストーブ・ペレットストーブを利用している	17.2%	6.6%	15.3%	58.9%	2.0%	606
野生動植物をむやみに採ったり傷つけたりしない	81.2%	10.7%	2.8%	3.8%	1.5%	606
敷地内の整理整頓や庭木の手入れをしている	50.3%	35.8%	9.7%	4.1%	0.0%	606
家族や友人と環境問題について話し合っている	7.6%	41.1%	39.9%	11.2%	0.2%	606

- ・「生ごみを堆肥にしている」人の割合が10年前より減少しています（57.1%→35.5%）。
- ・「買い物には買物袋やマイバックを持参している」人が増加しています（80.8%→94.7%）。
- ・「自動車の使用頻度を減らし、公共交通機関の利用を心がけている」人の割合が低い状況にあります（23.1%）。
- ・「太陽エネルギーを利用している」人の割合が低い状況にあります（9.9%）。

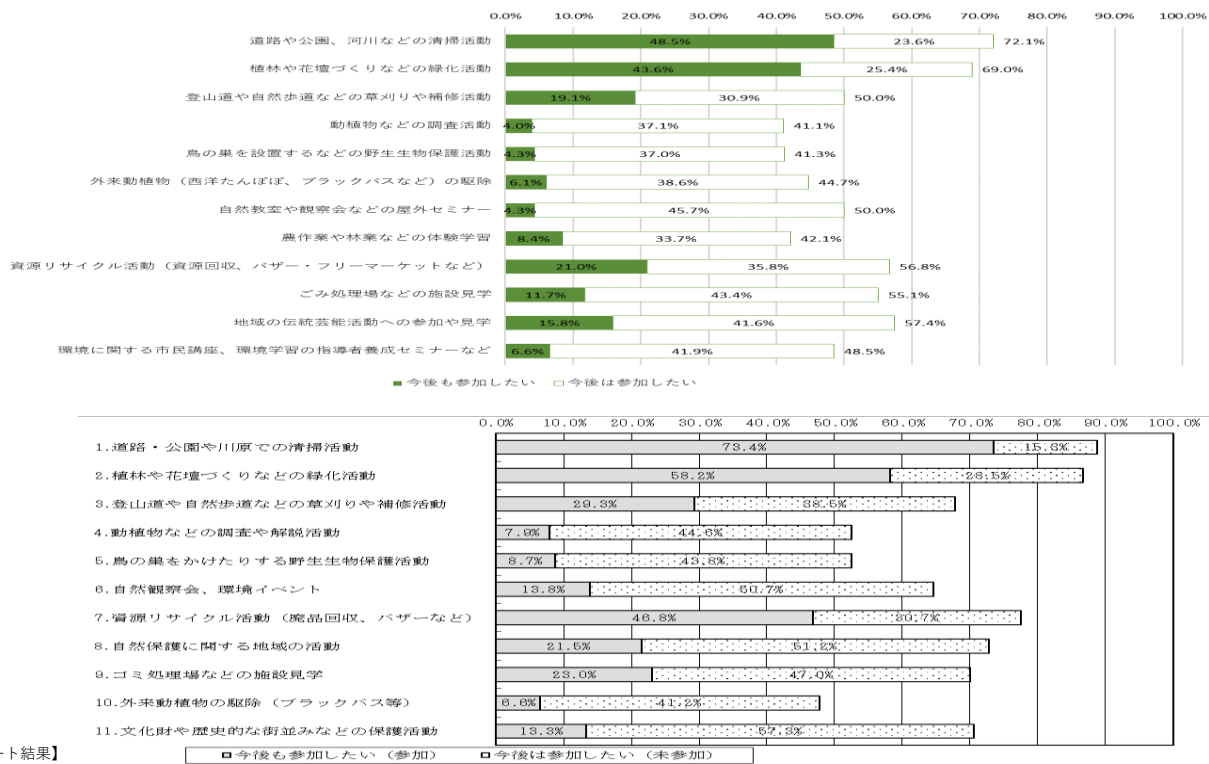


【平成23年アンケート結果】

■問6 あなたは、次のような環境保全活動に参加したことがありますか。また、今後参加したいと思いますか。

	今後も参加したい	もう参加したくない	今後は参加したい	参加したくない	無回答	計
道路や公園、河川などの清掃活動	48.5%	8.6%	23.6%	18.0%	1.3%	606
植林や花壇づくりなどの緑化活動	43.6%	8.6%	25.4%	21.3%	1.2%	606
登山道や自然歩道などの草刈りや補修活動	19.1%	6.4%	30.9%	41.3%	2.3%	606
動植物などの調査活動	4.0%	3.1%	37.1%	53.5%	2.3%	606
鳥の巣を設置するなどの野生生物保護活動	4.3%	3.3%	37.0%	53.0%	2.5%	606
外来動植物（西洋たんぽぽ、ブラックバスなど）の駆除	6.1%	2.6%	38.6%	50.3%	2.3%	606
自然教室や観察会などの屋外セミナー	4.3%	2.5%	45.7%	45.9%	1.7%	606
農作業や林業などの体験学習	8.4%	4.3%	33.7%	51.8%	1.8%	606
資源リサイクル活動（資源回収、パザー・フリーマーケットなど）	21.0%	3.8%	35.8%	37.3%	2.1%	606
ごみ処理場などの施設見学	11.7%	5.4%	43.4%	37.3%	2.1%	606
地域の伝統芸能活動への参加や見学	15.8%	4.5%	41.6%	36.1%	2.0%	606
環境に関する市民講座、環境学習の指導者養成セミナーなど	6.6%	3.5%	41.9%	46.4%	1.7%	606
その他	1.0%	0.2%	3.3%	10.7%	84.8%	606

- ・道路や公園・河川などの清掃活動（48.5％）、植林や花壇づくりなどの緑化活動（43.6％）、資源リサイクル活動（21.0％）へ参加したことがある人が多い状況です。
- ・10年前と比較して、ほぼ全ての項目に置いて参加率、参加意欲共に低下しています。
- ・道路や公園・河川などの清掃活動へ参加し、今後も参加したい人の割合が大きく低下しています（73.4％→48.5％）。

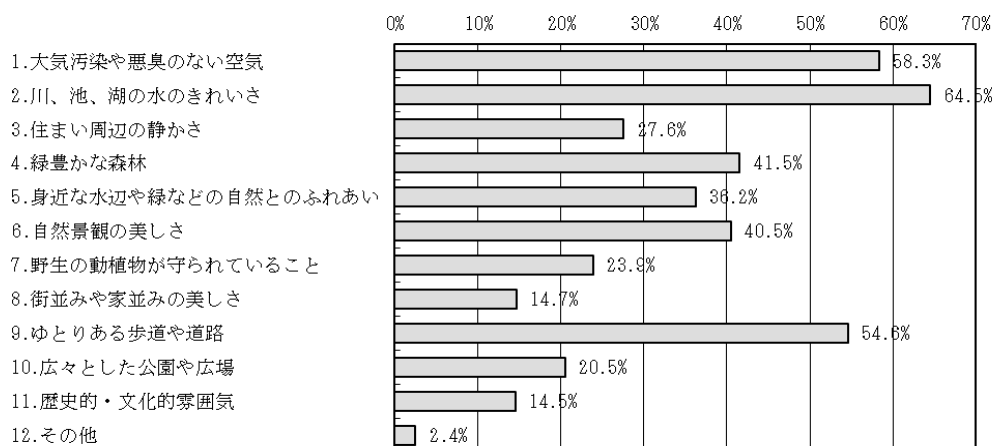
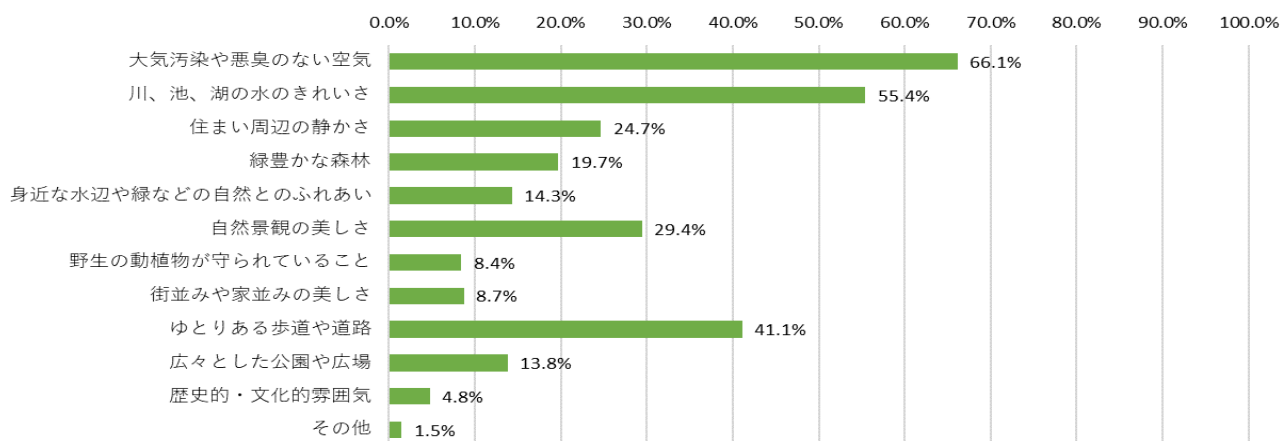


【平成23年アンケート結果】

■問7 あなたが、快適で住み良い環境を確保していく上で、特に大切と考える要素は何ですか。

	回答数	回答割合	回答者数
大気汚染や悪臭のない空気	402	66.1%	608
川、池、湖の水のきれいさ	337	55.4%	608
住まい周辺の静かさ	150	24.7%	608
緑豊かな森林	120	19.7%	608
身近な水辺や緑などの自然とのふれあい	87	14.3%	608
自然景観の美しさ	179	29.4%	608
野生の動植物が守られていること	51	8.4%	608
街並みや家並みの美しさ	53	8.7%	608
ゆとりある歩道や道路	250	41.1%	608
広々とした公園や広場	84	13.8%	608
歴史的・文化的雰囲気	29	4.8%	608
その他	9	1.5%	608

・大気汚染や悪臭のない空気（66.1%）、川、池、湖の水のきれいさ（55.4%）、ゆとりある歩道や道路（41.1%）、が特に大切な要素と考えている人が多い状況です。
 ・上位3項目は10年前と同じ結果です（回答上限数を「全て」から「3つ」に限定）。



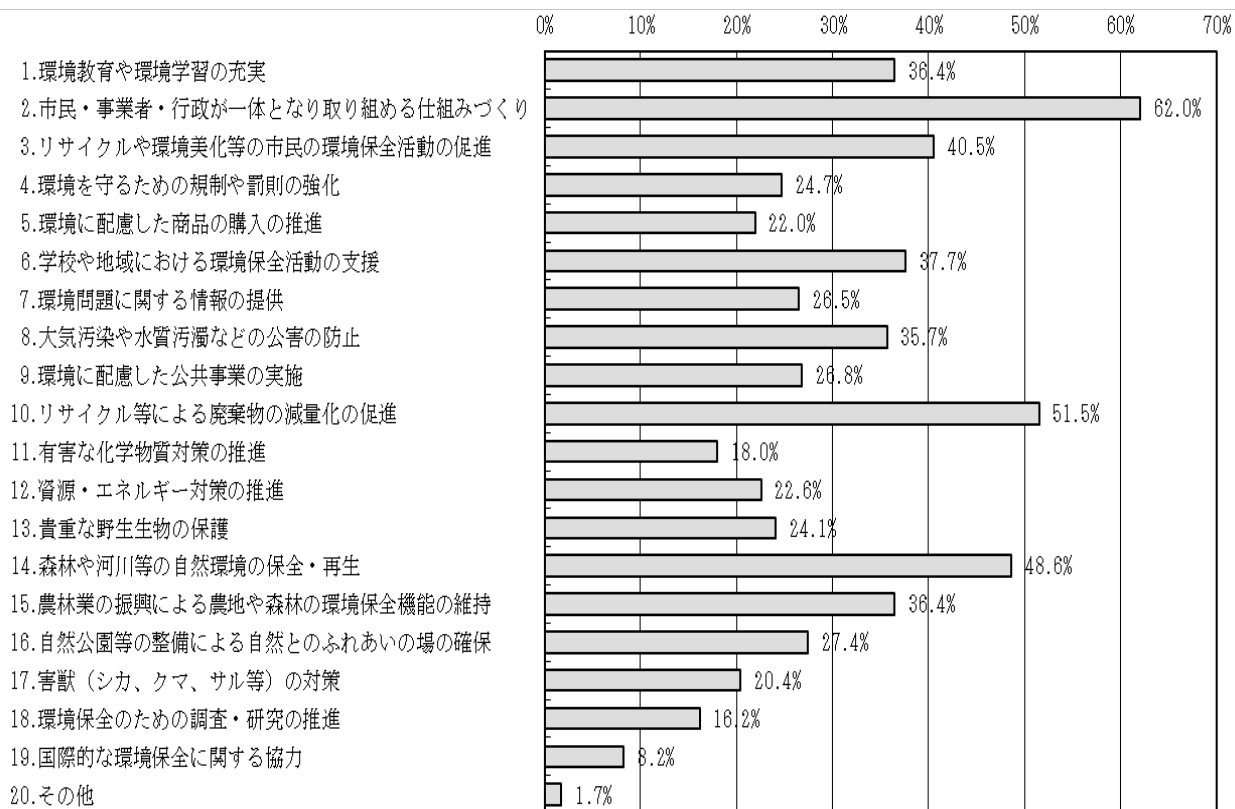
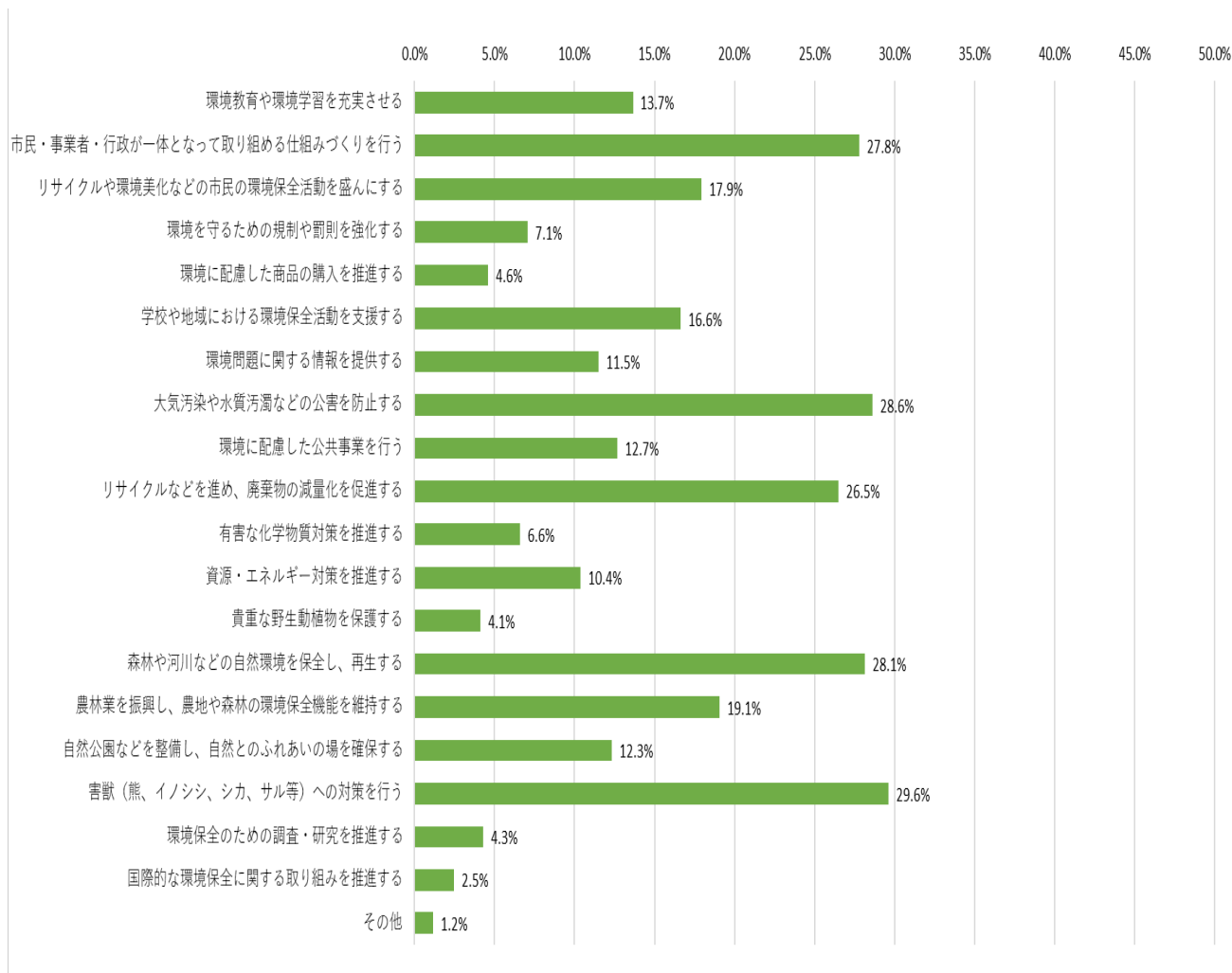
【平成23年アンケート結果】

■問8 あなたは、環境問題を解決するため、どのような環境保全施策が必要だと思いますか。

	回答数	回答割合	回答者数
環境教育や環境学習を充実させる	83	13.7%	608
市民・事業者・行政が一体となって取り組める仕組みづくりを行う	169	27.8%	608
リサイクルや環境美化などの市民の環境保全活動を盛んにする	109	17.9%	608
環境を守るための規制や罰則を強化する	43	7.1%	608
環境に配慮した商品の購入を推進する	28	4.6%	608
学校や地域における環境保全活動を支援する	101	16.6%	608
環境問題に関する情報を提供する	70	11.5%	608
大気汚染や水質汚濁などの公害を防止する	174	28.6%	608
環境に配慮した公共事業を行う	77	12.7%	608
リサイクルなどを進め、廃棄物の減量化を促進する	161	26.5%	608
有害な化学物質対策を推進する	40	6.6%	608
資源・エネルギー対策を推進する	63	10.4%	608
貴重な野生動植物を保護する	25	4.1%	608
森林や河川などの自然環境を保全し、再生する	171	28.1%	608
農林業を振興し、農地や森林の環境保全機能を維持する	116	19.1%	608
自然公園などを整備し、自然とのふれあいの場を確保する	75	12.3%	608
害獣（熊、イノシシ、シカ、サル等）への対策を行う	180	29.6%	608
環境保全のための調査・研究を推進する	26	4.3%	608
国際的な環境保全に関する取り組みを推進する	15	2.5%	608
その他	7	1.2%	608

・「害獣（熊、イノシシ、シカ、サル等）への対策を行う（29.6%）」、「大気汚染や水質汚濁などの公害を防止する（28.6%）」、「リサイクルなどを進め、森林や河川などの自然環境を保全し、再生する（28.1%）」、市民・事業者・行政が一体となって取り組める仕組みづくりを行う（27.8%）」、「廃棄物の減量化を促進する（26.5%）」の5項目の回答が多くなっています。

・特に、問4で「悪くなった」との回答が多かった「熊やイノシシなどによる鳥獣被害状況」に連動し、「害獣（熊、イノシシ、シカ、サル等）への対策を行う」が10年前よりも約10%増加しています。

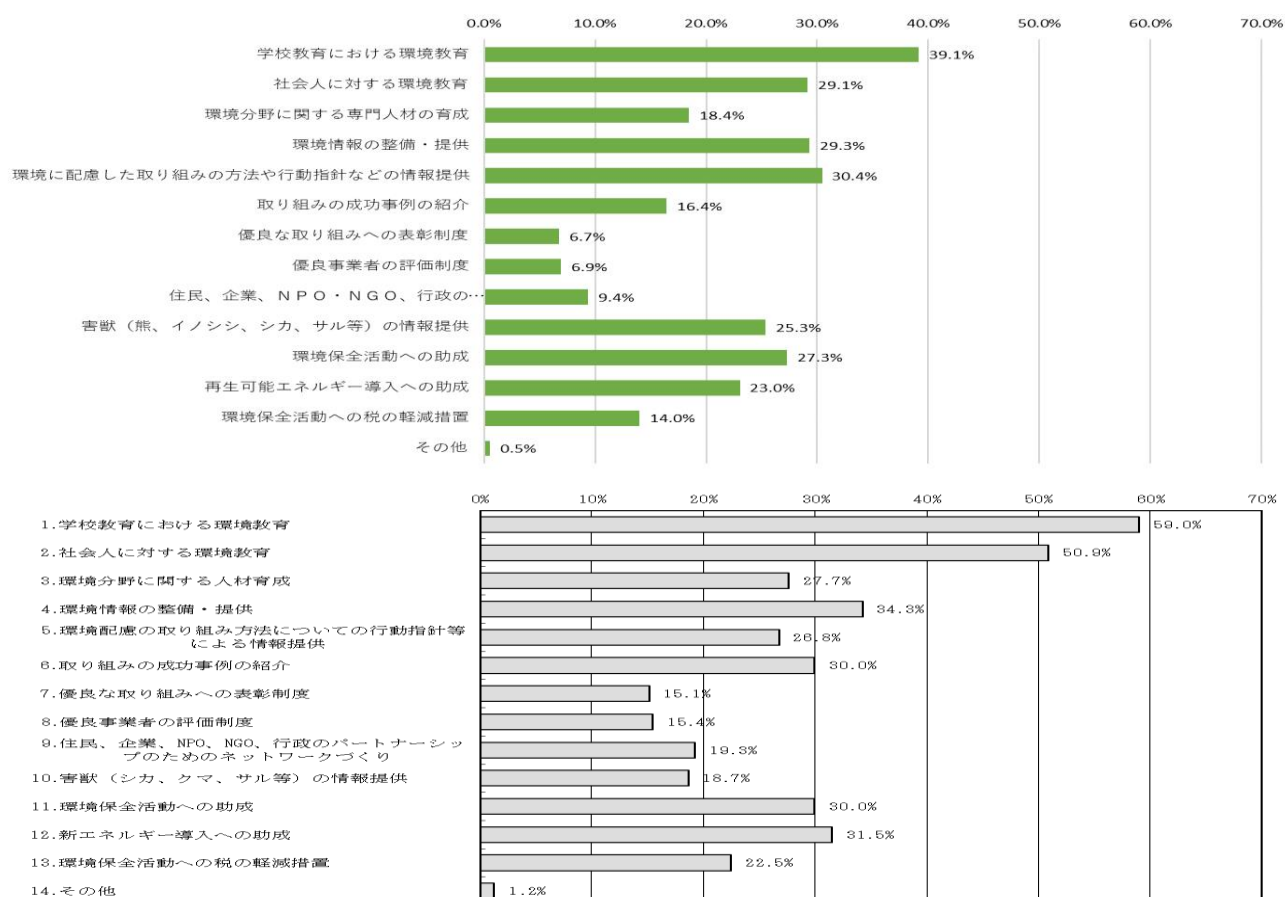


【平成23年アンケート結果】

■問9 一人ひとりが自主的に環境に配慮した取り組みを行っていくために、行政に対してどのような支援を期待しますか。

	回答数	回答割合	回答者数
学校教育における環境教育	238	39.1%	608
社会人に対する環境教育	177	29.1%	608
環境分野に関する専門人材の育成	112	18.4%	608
環境情報の整備・提供	178	29.3%	608
環境に配慮した取り組みの方法や行動指針などの情報提供	185	30.4%	608
取り組みの成功事例の紹介	100	16.4%	608
優良な取り組みへの表彰制度	41	6.7%	608
優良事業者の評価制度	42	6.9%	608
住民、企業、NPO・NGO、行政のパートナーシップのためのネットワークづくり	57	9.4%	608
害獣（熊、イノシシ、シカ、サル等）の情報提供	154	25.3%	608
環境保全活動への助成	166	27.3%	608
再生可能エネルギー導入への助成	140	23.0%	608
環境保全活動への税の軽減措置	85	14.0%	608
その他	3	0.5%	608

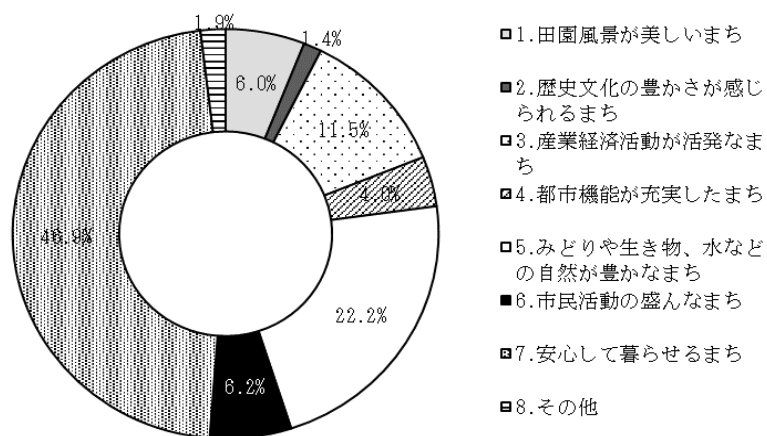
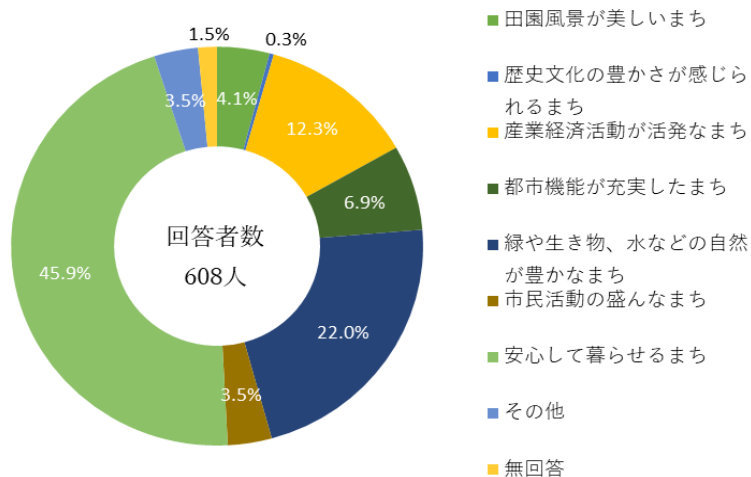
・「学校教育における環境教育」に期待するという回答が最も多くなっています（39.1%）。
・次いで、「環境に配慮した取り組みの方法や行動指針などの情報提供（30.4%）」、「環境情報の整備・提供（29.3%）」の情報に関するもの、「社会人に対する環境教育（29.1%）」が高くなっている。



■問11 10年後の八幡平市はどのようにあるべきだとお考えですか。

	回答者数	回答割合
田園風景が美しいまち	25	4.1%
歴史文化の豊かさが感じられるまち	2	0.3%
産業経済活動が活発なまち	75	12.3%
都市機能が充実したまち	42	6.9%
緑や生き物、水などの自然が豊かなまち	134	22.0%
市民活動の盛んなまち	21	3.5%
安心して暮らせるまち	279	45.9%
その他	21	3.5%
無回答	9	1.5%
総計	608	100.0%

- ・安心して暮らせるまちが一番重要という回答が最も多くなっています（45.9%）。
- ・回答割合は10年前とほぼ同じとなっています。



II 事業者意識調査

1 調査方法

調査対象者：市内に事業所（店舗）がある事業者

調査対象者数：150事業所（無作為抽出）

調査方法：郵送による配布、回収

調査期間：令和3年8月1日から8月20日まで

2 調査結果

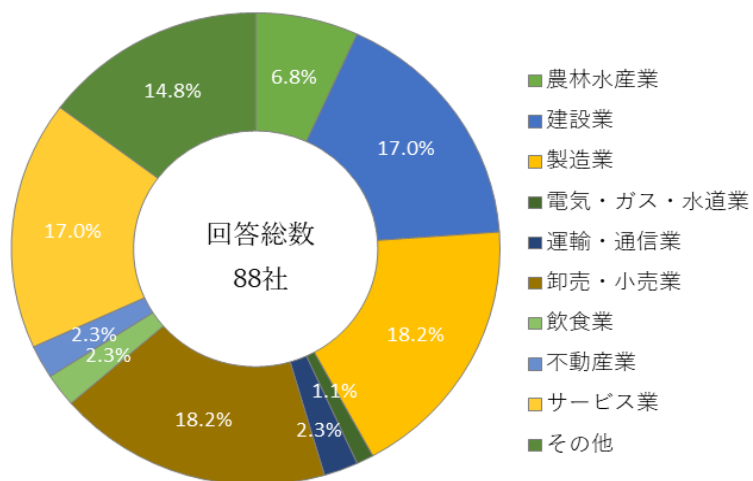
有効回収数：88社

有効回答率：58.7%

■問1 基本的項目

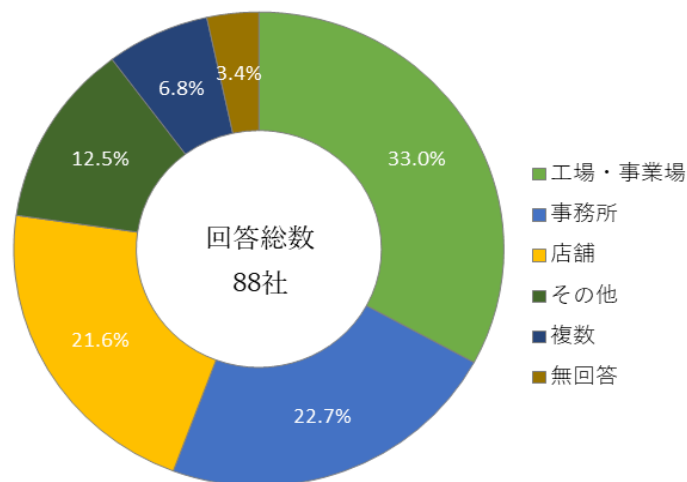
業種

	回答数	回答割合
農林水産業	6	6.8%
建設業	15	17.0%
製造業	16	18.2%
電気・ガス・水道業	1	1.1%
運輸・通信業	2	2.3%
卸売・小売業	16	18.2%
飲食業	2	2.3%
不動産業	2	2.3%
サービス業	15	17.0%
その他	13	14.8%
総計	88	100.0%



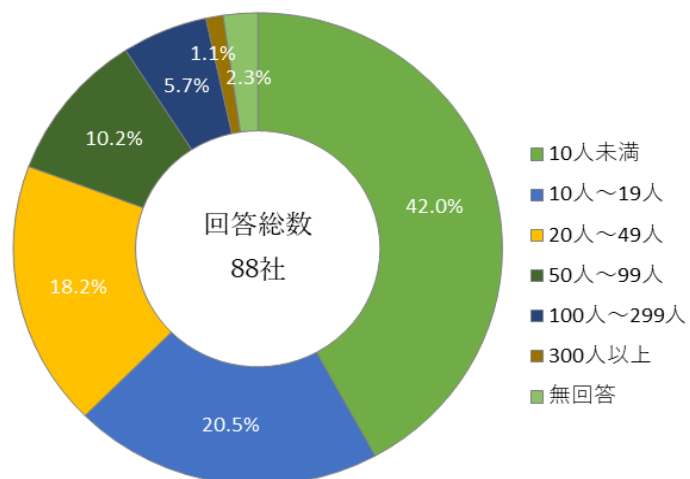
事業形態

行ラベル	回答数	回答割合
工場・事業場	29	33.0%
事務所	20	22.7%
店舗	19	21.6%
その他	11	12.5%
複数	6	6.8%
無回答	3	3.4%
総計	88	100.0%



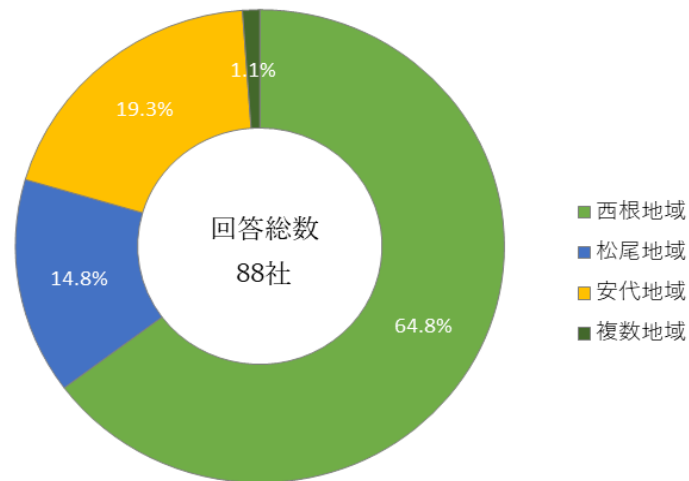
従業員数

	回答数	回答割合
10人未満	37	42.0%
10人～19人	18	20.5%
20人～49人	16	18.2%
50人～99人	9	10.2%
100人～299人	5	5.7%
300人以上	1	1.1%
無回答	2	2.3%
総計	88	100.0%



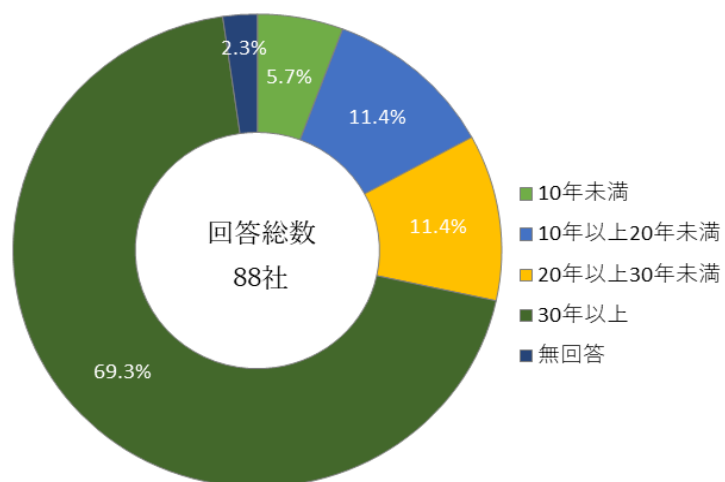
所在地

	回答数	回答割合
西根地域	57	64.8%
松尾地域	13	14.8%
安代地域	17	19.3%
複数地域	1	1.1%
総計	88	100.0%



所在年数

	回答数	回答割合
10年未満	5	5.7%
10年以上20年未満	10	11.4%
20年以上30年未満	10	11.4%
30年以上	61	69.3%
無回答	2	2.3%
総計	88	100.0%

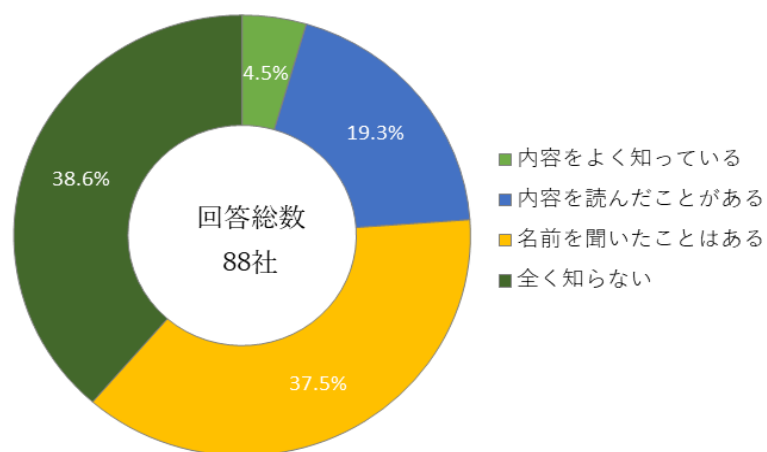


保有台数

	台数計	割合
ガソリン車	598	57.1%
ディーゼル車	375	35.8%
L P ガス車	3	0.3%
バイク	4	0.4%
ハイブリット車	51	4.9%
電気自動車	7	0.7%
その他	9	0.9%
合計	1047	100.0%

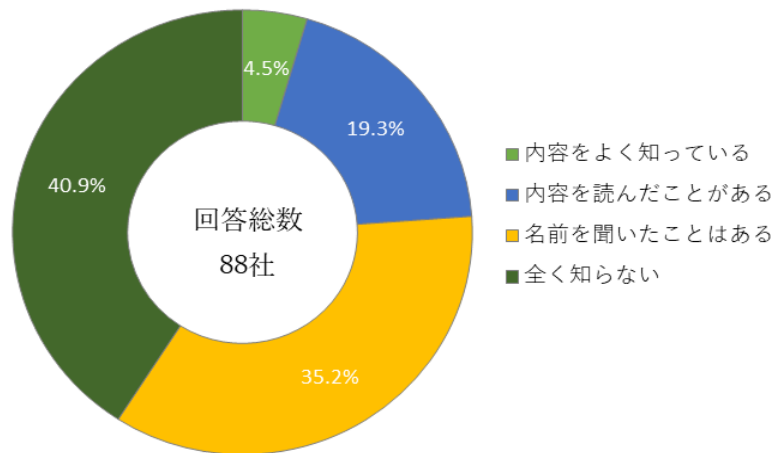
■問2 本市では、平成22年3月に八幡平市環境基本条例を制定していますが、どの程度知っていますか。

	回答数	回答割合
内容をよく知っている	4	4.5%
内容を読んだことがある	17	19.3%
名前を聞いたことはある	33	37.5%
全く知らない	34	38.6%
総計	88	100.0%



■問3 本市では、平成24年3月に八幡平市環境基本計画（計画期間：平成24年度～令和3年度）を策定していますが、どの程度知っていますか。

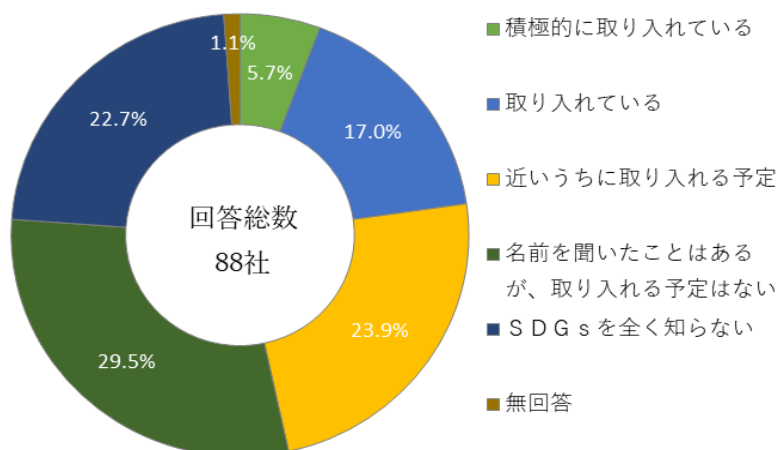
	回答数	回答割合
内容をよく知っている	4	4.5%
内容を読んだことがある	17	19.3%
名前を聞いたことはある	31	35.2%
全く知らない	36	40.9%
総計	88	100.0%



・八幡平市環境基本条例、八幡平市環境基本計画ともに、内容まで読んだことがある事業者は24%に留まっており、全く知らない事業者が4割に上っています。

■問7 第2次環境基本計画（計画期間：令和4年度～令和13年度）には、SDGs（エスディージーズ：持続可能な開発目標）の視点を取り入れます。貴事業所では既にSDGsを取り入れて活動をされていますか。

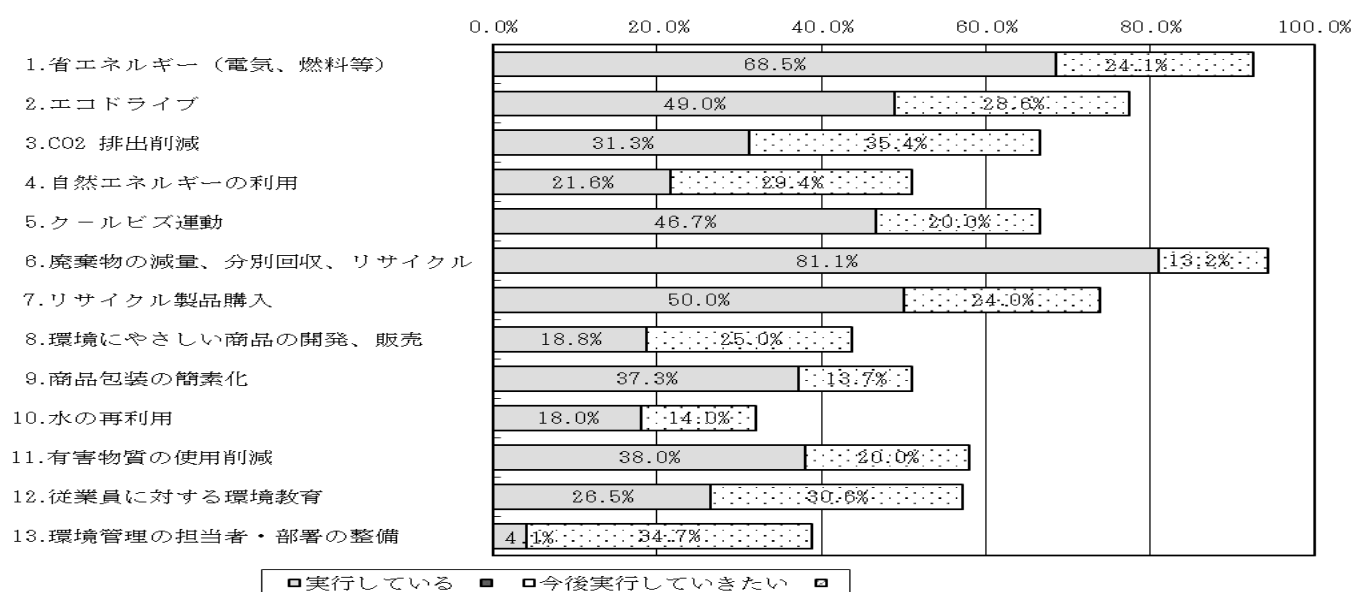
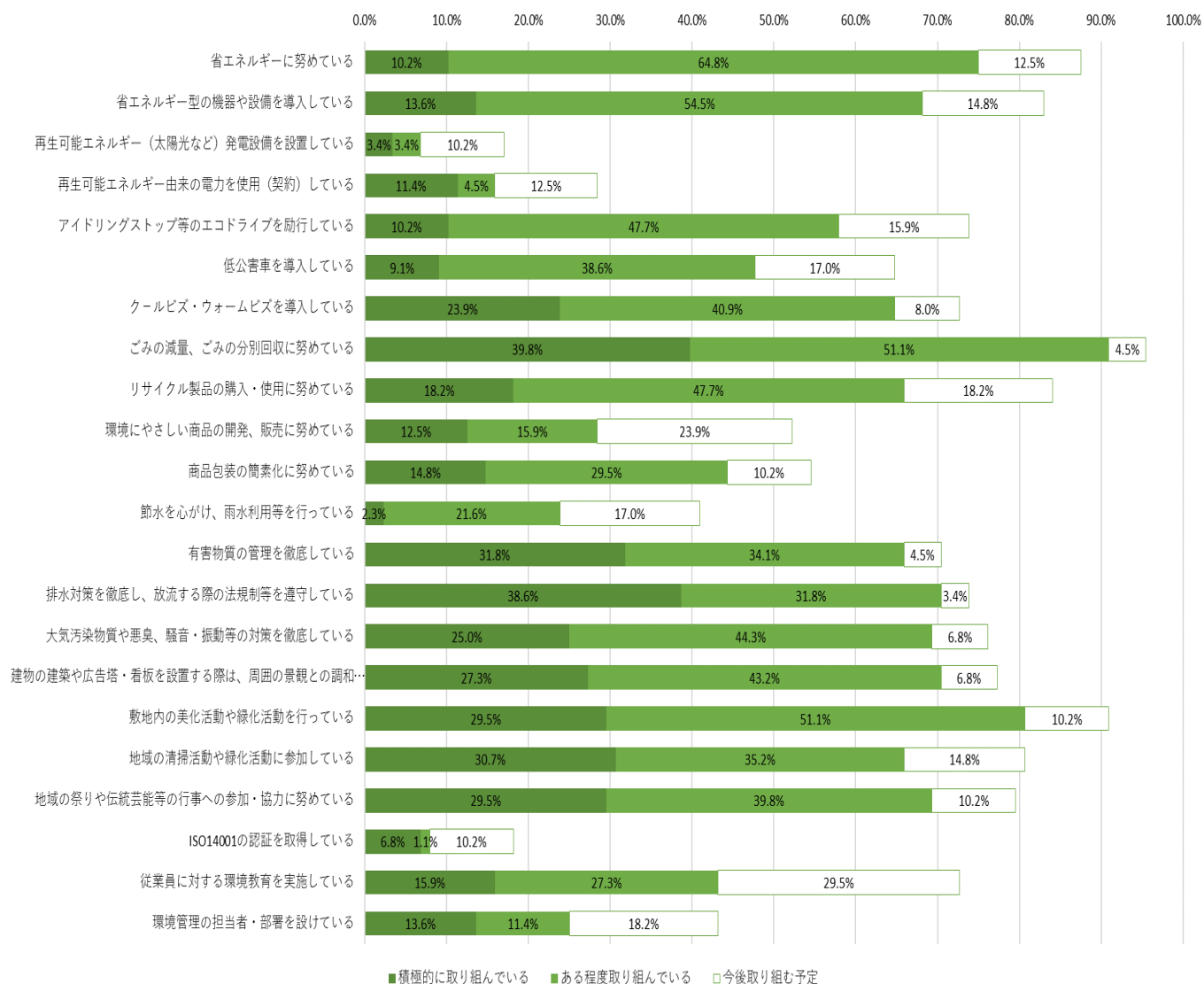
	回答者数	回答割合
積極的に取り入れている	5	5.7%
取り入れている	15	17.0%
近いうちに取り入れる予定	21	23.9%
名前を聞いたことはあるが、取り入れる予定はない	26	29.5%
SDGsを全く知らない	20	22.7%
無回答	1	1.1%
総計	88	100.0%



・20%の事業者が既にSDGsを取り入れており、近いうちに取り入れる予定の事業者まで含めると、半数の事業者がSDGsを取り入れることとなります。

■問4 貴事業所の現在の環境保全に関する取り組み状況に関して、次のそれぞれの項目について、あてはまる番号に○をつけてください。

	積極的に 取り組ん でいる	ある程度 取り組ん でいる	今後取り 組む予定	今後取り 組む予定 はない	該当しな い	無回答
省エネルギーに努めている	10.2%	64.8%	12.5%	4.5%	3.4%	4.5%
省エネルギー型の機器や設備を導入している	13.6%	54.5%	14.8%	11.4%	4.5%	1.1%
再生可能エネルギー（太陽光など）発電設備を設置している	3.4%	3.4%	10.2%	47.7%	34.1%	1.1%
再生可能エネルギー由来の電力を使用（契約）している	11.4%	4.5%	12.5%	36.4%	34.1%	1.1%
アイドリングストップ等のエコドライブを励行している	10.2%	47.7%	15.9%	12.5%	13.6%	0.0%
低公害車を導入している	9.1%	38.6%	17.0%	14.8%	20.5%	0.0%
クールビズ・ウォームビズを導入している	23.9%	40.9%	8.0%	6.8%	19.3%	1.1%
ごみの減量、ごみの分別回収に努めている	39.8%	51.1%	4.5%	1.1%	3.4%	0.0%
リサイクル製品の購入・使用に努めている	18.2%	47.7%	18.2%	5.7%	8.0%	2.3%
環境にやさしい商品の開発、販売に努めている	12.5%	15.9%	23.9%	5.7%	42.0%	0.0%
商品包装の簡素化に努めている	14.8%	29.5%	10.2%	5.7%	39.8%	0.0%
節水を心がけ、雨水利用等を行っている	2.3%	21.6%	17.0%	23.9%	35.2%	0.0%
有害物質の管理を徹底している	31.8%	34.1%	4.5%	1.1%	27.3%	1.1%
排水対策を徹底し、放流する際の法規制等を遵守している	38.6%	31.8%	3.4%	2.3%	23.9%	0.0%
大気汚染物質や悪臭、騒音・振動等の対策を徹底している	25.0%	44.3%	6.8%	3.4%	19.3%	1.1%
建物の建築や広告塔・看板を設置する際は、周囲の景観との調和に配慮している	27.3%	43.2%	6.8%	4.5%	18.2%	0.0%
敷地内の美化活動や緑化活動を行っている	29.5%	51.1%	10.2%	3.4%	5.7%	0.0%
地域の清掃活動や緑化活動に参加している	30.7%	35.2%	14.8%	9.1%	10.2%	0.0%
地域の祭りや伝統芸能等の行事への参加・協力に努めている	29.5%	39.8%	10.2%	6.8%	12.5%	1.1%
ISO14001の認証を取得している	6.8%	1.1%	10.2%	31.8%	46.6%	3.4%
従業員に対する環境教育を実施している	15.9%	27.3%	29.5%	9.1%	18.2%	0.0%
環境管理の担当者・部署を設けている	13.6%	11.4%	18.2%	27.3%	29.5%	0.0%



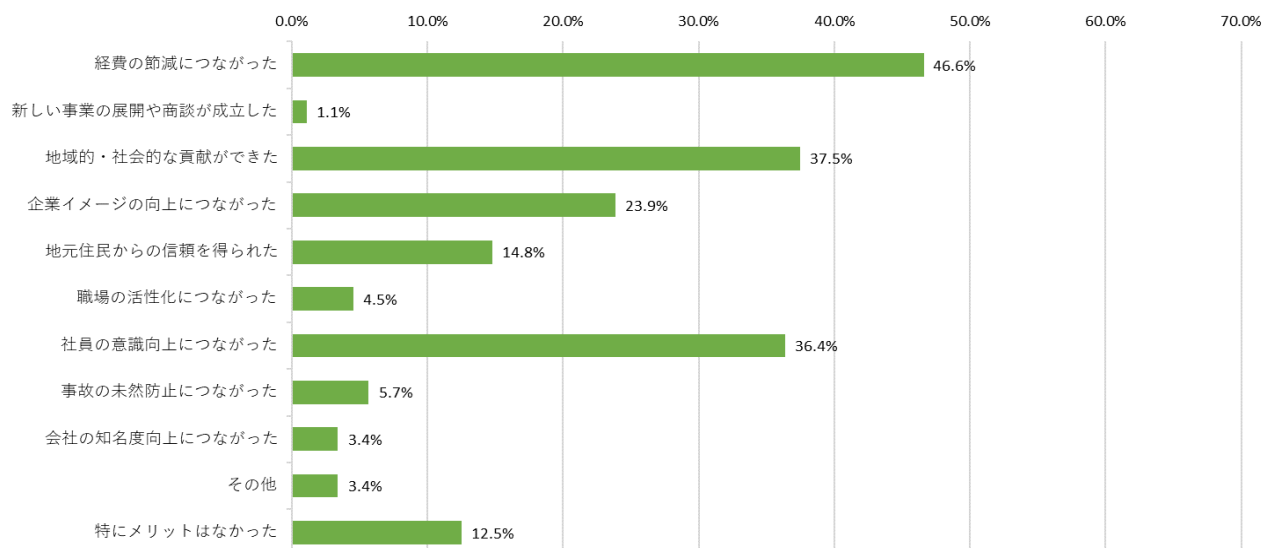
【平成23年アンケート結果】

- ・ 10年前と比較可能な取り組み項目全てにおいて、取り組んでいる事業者が増えています。
- ・ 「再生可能エネルギー（太陽光など）発電設備を設置している」事業者は少数です（6.8%）。

■問5 貴事業所が環境保全に取り組むことで、得られたメリットはありますか。

	回答数	回答割合	回答者数
経費の節減につながった	41	46.6%	88
新しい事業の展開や商談が成立した	1	1.1%	88
地域的・社会的な貢献ができた	33	37.5%	88
企業イメージの向上につながった	21	23.9%	88
地元住民からの信頼を得られた	13	14.8%	88
職場の活性化につながった	4	4.5%	88
社員の意識向上につながった	32	36.4%	88
事故の未然防止につながった	5	5.7%	88
会社の知名度向上につながった	3	3.4%	88
その他	3	3.4%	88
特にメリットはなかった	11	12.5%	88

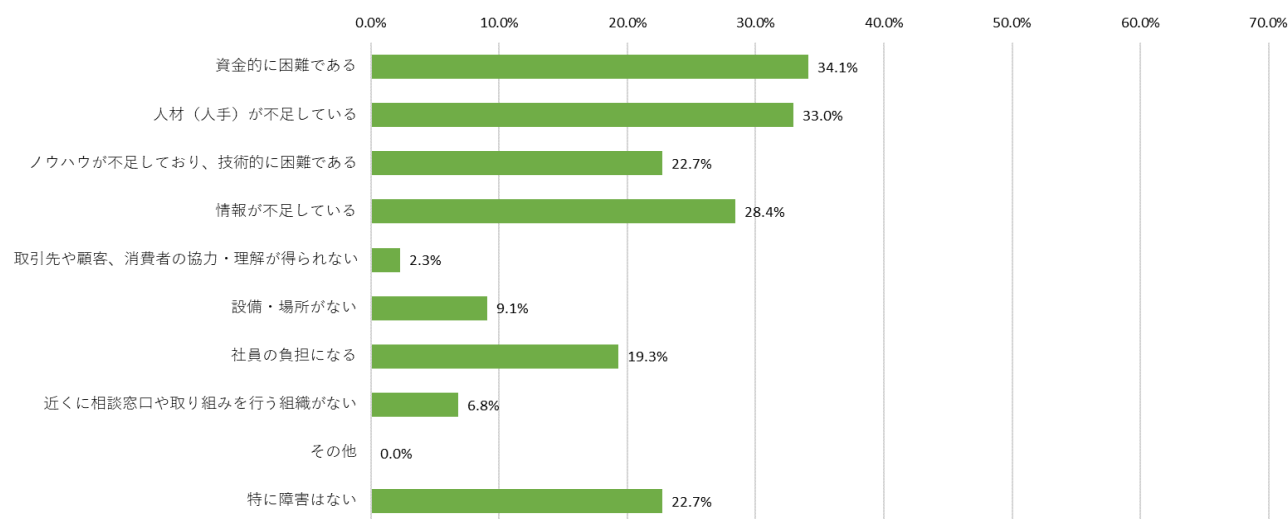
・環境保全に取り組むメリットとして「経費の節減につながった」（46.6%）、「地域的・社会的な貢献ができた」（37.5%）、「社員の意識向上につながった」（36.4%）、「企業イメージの向上につながった」（23.9%）が多くあげられています。



■問 6 貴事業所が環境保全に取り組む上で、どのようなことが障害になっていますか。

	回答数	回答割合	回答者数
資金的に困難である	30	34.1%	88
人材（人手）が不足している	29	33.0%	88
ノウハウが不足しており、技術的に困難である	20	22.7%	88
情報が不足している	25	28.4%	88
取引先や顧客、消費者の協力・理解が得られない	2	2.3%	88
設備・場所がない	8	9.1%	88
社員の負担になる	17	19.3%	88
近くに相談窓口や取り組みを行う組織がない	6	6.8%	88
その他	0	0.0%	88
特に障害はない	20	22.7%	88

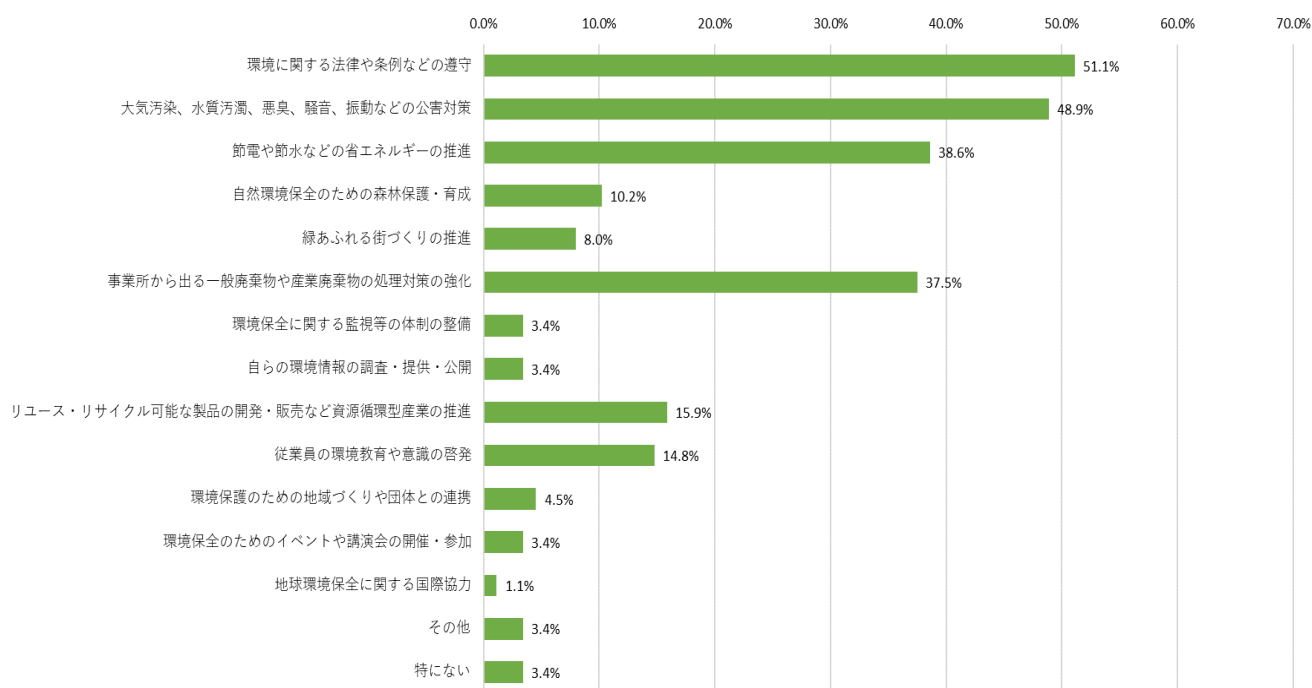
- ・環境保全に取り組む上での障害として「資金的に困難である」（34.1%）、「人材（人手）が不足している」（33.0%）、「情報が不足している」（28.4%）が多くあげられています。
- ・「特に障害はない」と捉えている事業者も約20%あります。



■問8 環境保全のために、事業者にも求められている取り組みは何であると考えていますか。

	回答数	回答割合	回答者数
環境に関する法律や条例などの遵守	45	51.1%	88
大気汚染、水質汚濁、悪臭、騒音、振動などの公害対策	43	48.9%	88
節電や節水などの省エネルギーの推進	34	38.6%	88
自然環境保全のための森林保護・育成	9	10.2%	88
緑あふれる街づくりの推進	7	8.0%	88
事業所から出る一般廃棄物や産業廃棄物の処理対策の強化	33	37.5%	88
環境保全に関する監視等の体制の整備	3	3.4%	88
自らの環境情報の調査・提供・公開	3	3.4%	88
リユース・リサイクル可能な製品の開発・販売など資源循環型産業の推進	14	15.9%	88
従業員の環境教育や意識の啓発	13	14.8%	88
環境保護のための地域づくりや団体との連携	4	4.5%	88
環境保全のためのイベントや講演会の開催・参加	3	3.4%	88
地球環境保全に関する国際協力	1	1.1%	88
その他	3	3.4%	88
特になし	3	3.4%	88

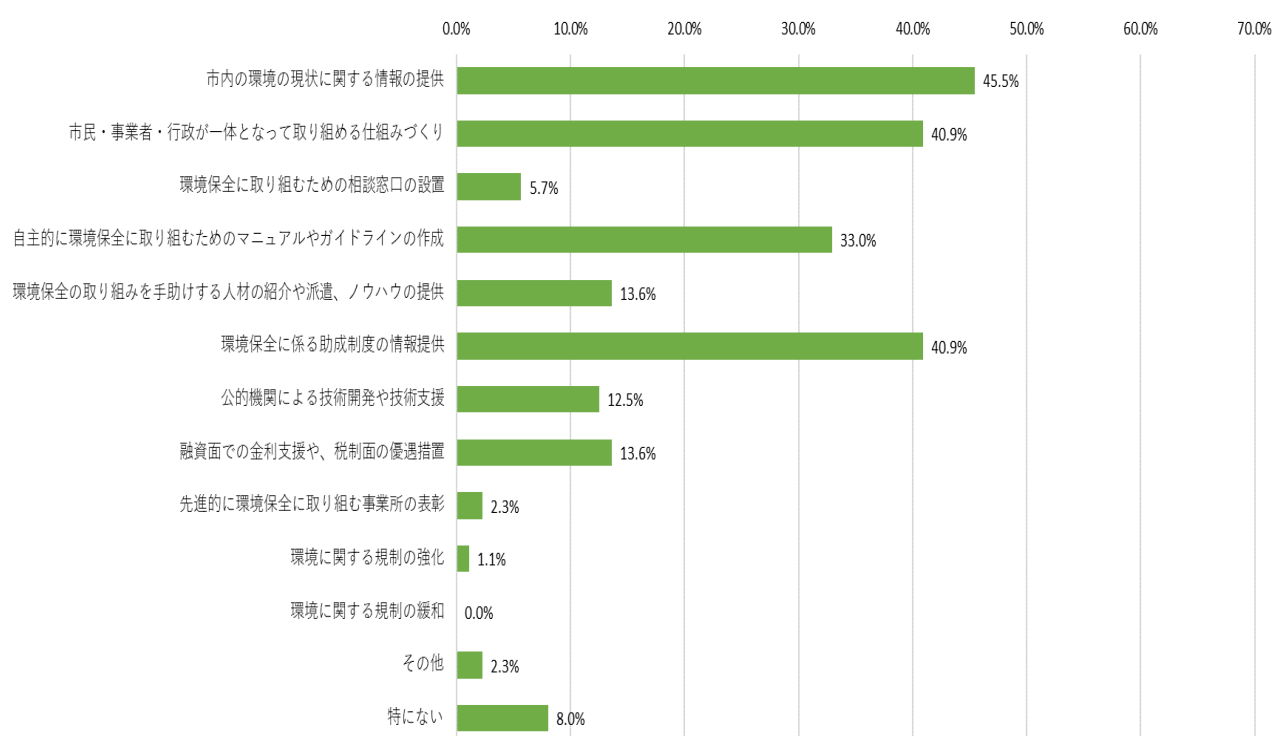
・事業者にも求められている取り組みとして「環境に関する法律や条例などの遵守」（51.1%）、「大気汚染、水質汚濁、悪臭、騒音、振動などの公害対策」（48.9%）が多く、次いで「節電や節水などの省エネルギーの推進」（38.6%）、「事業所から出る一般廃棄物や産業廃棄物の処理対策の強化」（37.5%）があげられています。



■問9 貴事業所が環境保全に取り組むにあたって、行政にしてほしい、または期待することは何ですか。

	回答数	回答割合	回答者数
市内の環境の現状に関する情報の提供	40	45.5%	88
市民・事業者・行政が一体となって取り組める仕組みづくり	36	40.9%	88
環境保全に取り組むための相談窓口の設置	5	5.7%	88
自主的に環境保全に取り組むためのマニュアルやガイドラインの作成	29	33.0%	88
環境保全の取り組みを手助けする人材の紹介や派遣、ノウハウの提供	12	13.6%	88
環境保全に係る助成制度の情報提供	36	40.9%	88
公的機関による技術開発や技術支援	11	12.5%	88
融資面での金利支援や、税制面の優遇措置	12	13.6%	88
先進的に環境保全に取り組む事業所の表彰	2	2.3%	88
環境に関する規制の強化	1	1.1%	88
環境に関する規制の緩和	0	0.0%	88
その他	2	2.3%	88
特にない	7	8.0%	88

- ・「市内の環境の現状に関する情報の提供」（45.5%）、「環境保全に係る助成制度の情報提供」（40.9%）、「自主的に環境保全に取り組むためのマニュアルやガイドラインの作成」（33.0%）が多くあげられ、行政には情報や資料提供が期待されています。
- ・「市民・事業者・行政が一体となって取り組める仕組みづくり」も上位にあげられています（40.9%）。



Ⅲ 小学生アンケート

1 調査方法

調査対象者：市内の小学6年生

調査対象者数：148人

調査方法：学級における配布、回収

調査期間：令和3年8月23日から8月31日まで

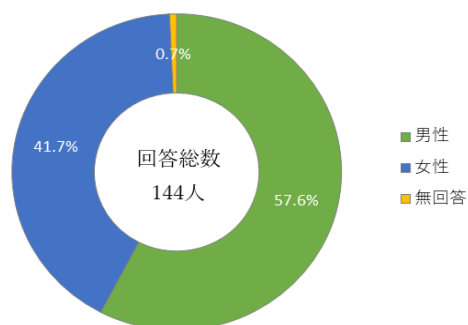
2 調査結果

有効回収数：144人

有効回答率：97.3%

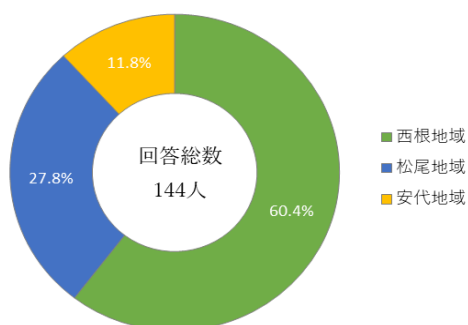
■問1 性別

	回答者数	回答割合
男性	83	57.6%
女性	60	41.7%
無回答	1	0.7%
総計	144	100.0%



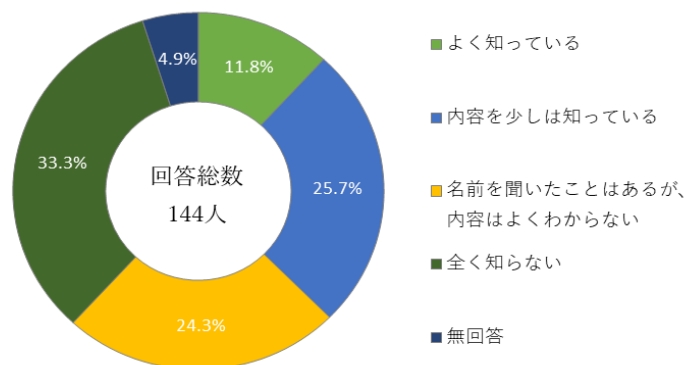
■問2 通っている学校

	回答者数	回答割合
西根地域	87	60.4%
松尾地域	40	27.8%
安代地域	17	11.8%
総計	144	100.0%



■問3 これから作る計画には、SDGs（エスディージーズ：持続可能な開発目標）の考え方を取り入れます。あなたは、SDGsについて知っていますか。

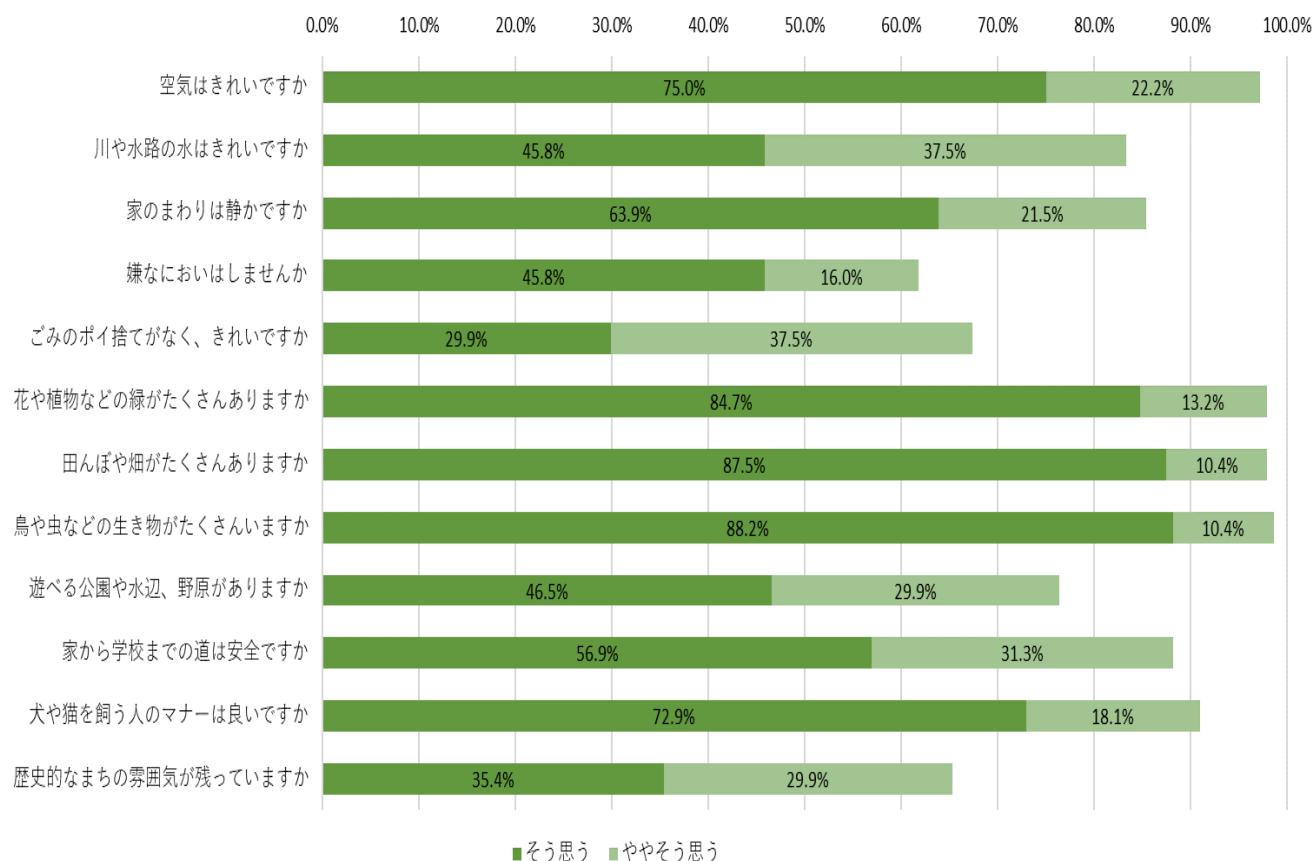
	回答者数	回答割合
よく知っている	17	11.8%
内容を少しは知っている	37	25.7%
名前を聞いたことはある	35	24.3%
全く知らない	48	33.3%
無回答	7	4.9%
総計	144	100.0%



■問4 あなたは、学校や家のまわりの環境について、どのように思いますか。

	そう思う	ややそう 思う	あまりそ う思わな い	そう思わ ない	無回答	回答者数
空気はきれいですか	75.0%	22.2%	2.8%	0.0%	0.0%	144
川や水路の水はきれいですか	45.8%	37.5%	14.6%	1.4%	0.7%	144
家のまわりは静かですか	63.9%	21.5%	9.0%	4.9%	0.7%	144
嫌なにおいはしませんか	45.8%	16.0%	12.5%	25.0%	0.7%	144
ごみのポイ捨てがなく、きれいですか	29.9%	37.5%	25.0%	7.6%	0.0%	144
花や植物などの緑がたくさんありますか	84.7%	13.2%	0.7%	0.7%	0.7%	144
田んぼや畑がたくさんありますか	87.5%	10.4%	0.0%	1.4%	0.7%	144
鳥や虫などの生き物がたくさんいますか	88.2%	10.4%	0.7%	0.0%	0.7%	144
遊べる公園や水辺、野原がありますか	46.5%	29.9%	16.0%	7.6%	0.0%	144
家から学校までの道は安全ですか	56.9%	31.3%	6.3%	4.9%	0.7%	144
犬や猫を飼う人のマナーは良いですか	72.9%	18.1%	4.9%	2.8%	1.4%	144
歴史的なまちの雰囲気が残っていますか	35.4%	29.9%	25.7%	9.0%	0.0%	144

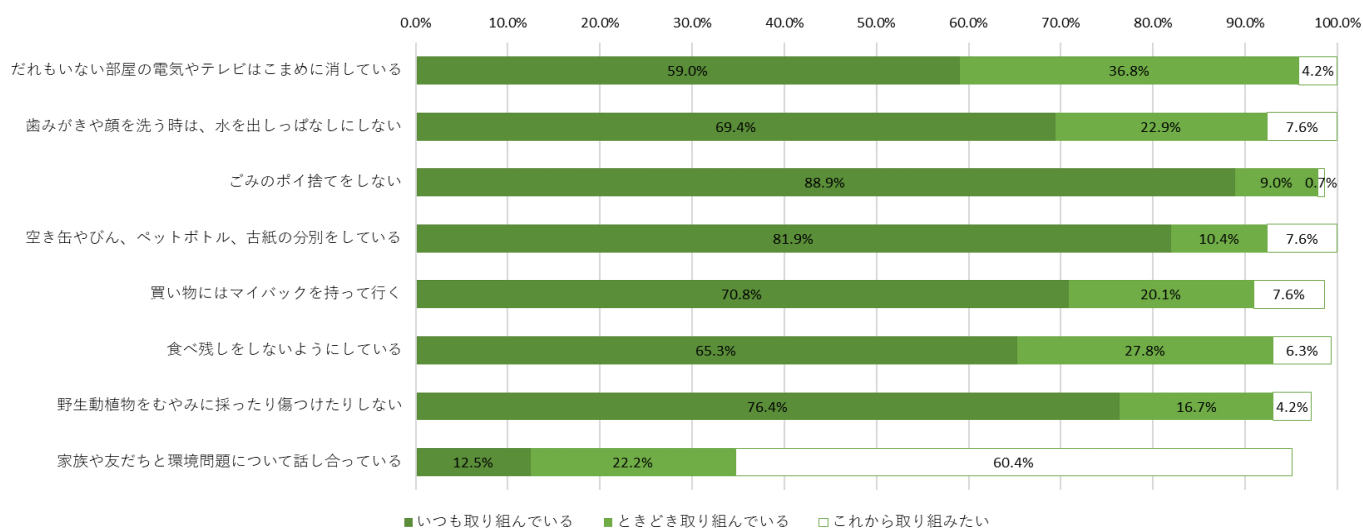
- ・「嫌なにおいがする」、「ごみのポイ捨てがある」、「歴史的なまちの雰囲気が残っていない」と感じている児童が30%以上います。
- ・「遊べる公園や水辺、野原がない」と感じている児童が20%以上、「家から学校までの道が安全ではない」と感じている児童が10%以上います。



■問5 あなたは、次のような環境を守る行動に取り組んでいますか。

	いつも実行している	時々実行している	今後は実行したい	実行するつもりはない	無回答	回答者数
だれもない部屋の電気やテレビはこまめに消している	59.0%	36.8%	4.2%	0.0%	0.0%	144
歯みがきや顔を洗う時は、水を出しっぱなしにしない	69.4%	22.9%	7.6%	0.0%	0.0%	144
ごみのポイ捨てをしない	88.9%	9.0%	0.7%	1.4%	0.0%	144
空き缶やびん、ペットボトル、古紙の分別をしている	81.9%	10.4%	7.6%	0.0%	0.0%	144
買い物にはマイバックを持って行く	70.8%	20.1%	7.6%	1.4%	0.0%	144
食べ残しをしないようにしている	65.3%	27.8%	6.3%	0.0%	0.7%	144
野生動植物をむやみに採ったり傷つけたりしない	76.4%	16.7%	4.2%	2.1%	0.7%	144
家族や友だちと環境問題について話し合っている	12.5%	22.2%	60.4%	4.2%	0.7%	144

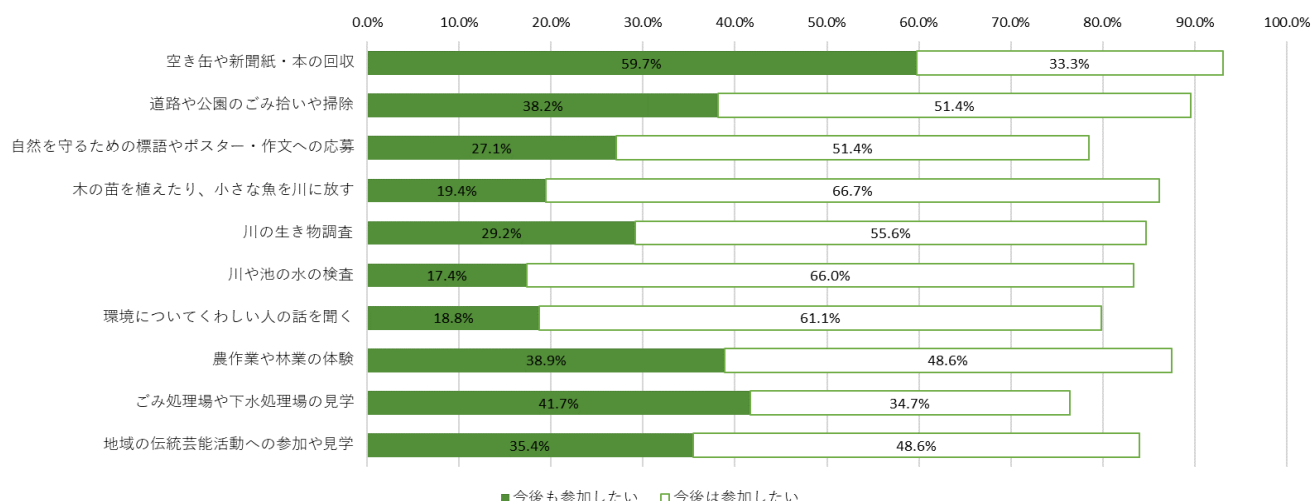
・「家族や友だちと環境問題について話し合っている」以外の項目は全て90%以上の児童が取り組んでいます。



■問6 あなたは、これまでに次のような環境を守る活動に参加したことがありますか。

	今後も参加したい	もう参加したくない	今後は参加したい	参加したくない	無回答	回答者数
空き缶や新聞紙・本の回収	59.7%	3.5%	33.3%	3.5%	0.0%	144
道路や公園のごみ拾いや掃除	38.2%	2.8%	51.4%	7.6%	0.0%	144
自然を守るための標語やポスター・作文への応募	27.1%	9.0%	51.4%	11.8%	0.7%	144
木の苗を植えたり、小さな魚を川に放す	19.4%	2.8%	66.7%	11.1%	0.0%	144
川の生き物調査	29.2%	5.6%	55.6%	9.7%	0.0%	144
川や池の水の検査	17.4%	2.8%	66.0%	13.2%	0.7%	144
環境についてくわしい人の話を聞く	18.8%	4.2%	61.1%	16.0%	0.0%	144
農作業や林業の体験	38.9%	4.2%	48.6%	7.6%	0.7%	144
ごみ処理場や下水処理場の見学	41.7%	6.3%	34.7%	15.3%	2.1%	144
地域の伝統芸能活動への参加や見学	35.4%	6.3%	48.6%	9.7%	0.0%	144

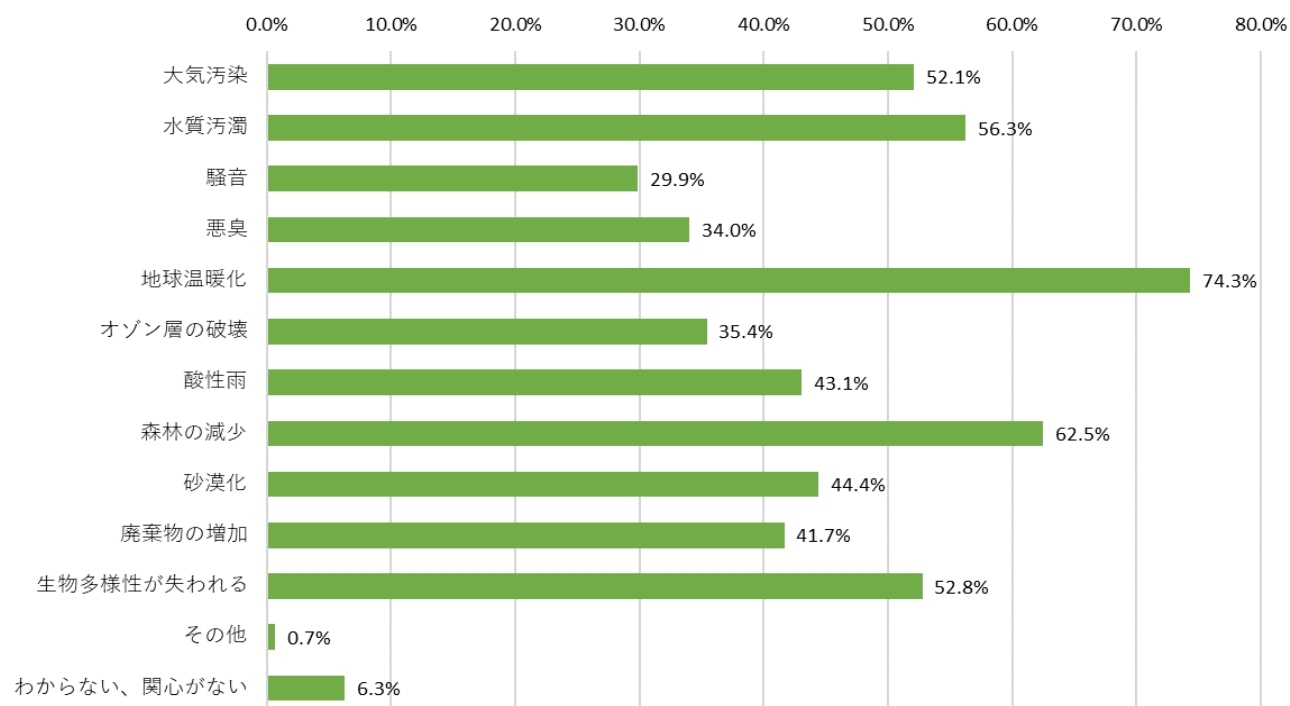
- ・「空き缶や新聞紙・本の回収」へ参加したことがある児童が最も多く（63.2%）、次いで「ごみ処理場や下水処理場の見学」（47.9%）となっています。
- ・「自然を守るための標語やポスター・作文への応募」は、参加したことがあるものの、もう参加したくない傾向が他よりも高くなっています（9.0%）



■問 7 あなたが、関心のある環境問題は何ですか。

	回答数	回答割合	回答者数
大気汚染	75	52.1%	144
水質汚濁	81	56.3%	144
騒音	43	29.9%	144
悪臭	49	34.0%	144
地球温暖化	107	74.3%	144
オゾン層の破壊	51	35.4%	144
酸性雨	62	43.1%	144
森林の減少	90	62.5%	144
砂漠化	64	44.4%	144
廃棄物の増加	60	41.7%	144
生物多様性が失われる	76	52.8%	144
その他	1	0.7%	144
わからない、関心がない	9	6.3%	144

- ・「地球温暖化」（74.3％）への関心が最も高くなっています。
- ・「森林の減少」（62.5％）、「水質汚濁」（56.3％）、「生物多様性が失われる」（52.8％）、「大気汚染」（52.1％）が半数以上の児童が関心をもっています。



■問 8 10年後の八幡平市の環境がどのようなになってほしいと思いますか。

	回答数	回答割合	回答者数
空気や水がきれいなまち	80	55.6%	144
緑や生き物などの自然が豊かなまち	51	35.4%	144
公害がないまち	24	16.7%	144
道路や川、公園にごみが捨てられていないまち	37	25.7%	144
美しい景色があるまち	36	25.0%	144
自然の力を使ったエネルギーを利用するまち	20	13.9%	144
みんなが一緒に協力して環境を良くするまち	20	13.9%	144
みんなが安心して暮らせるまち	57	39.6%	144
会社がたくさんあり、働くところがたくさんあるまち	21	14.6%	144
買い物や交通が便利なまち	40	27.8%	144
まちの歴史や文化財などを大切にするまち	12	8.3%	144
その他	2	1.5%	137

- ・半数以上の児童が「空気や水がきれいなまち」を望んでいます（55.6％）。
- ・次いで、「みんなが安心して暮らせるまち」（39.6％）、「緑や生き物などの自然が豊かなまち」（35.4％）となっています。

